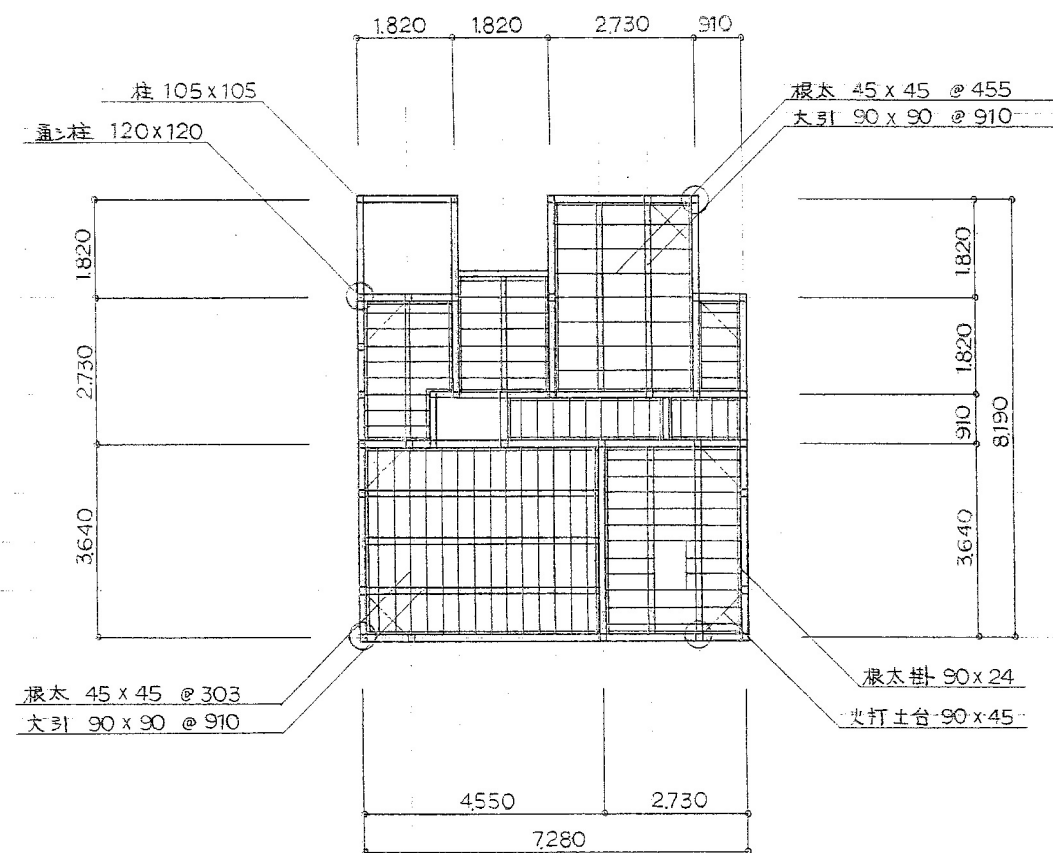
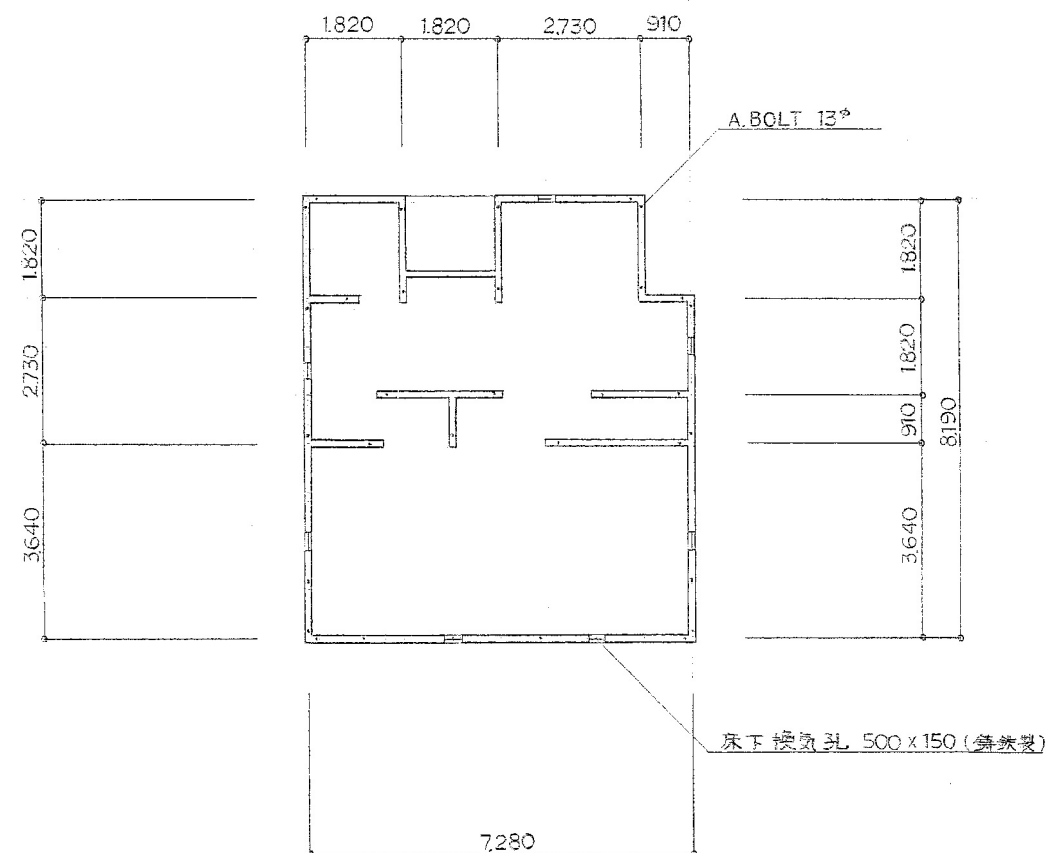
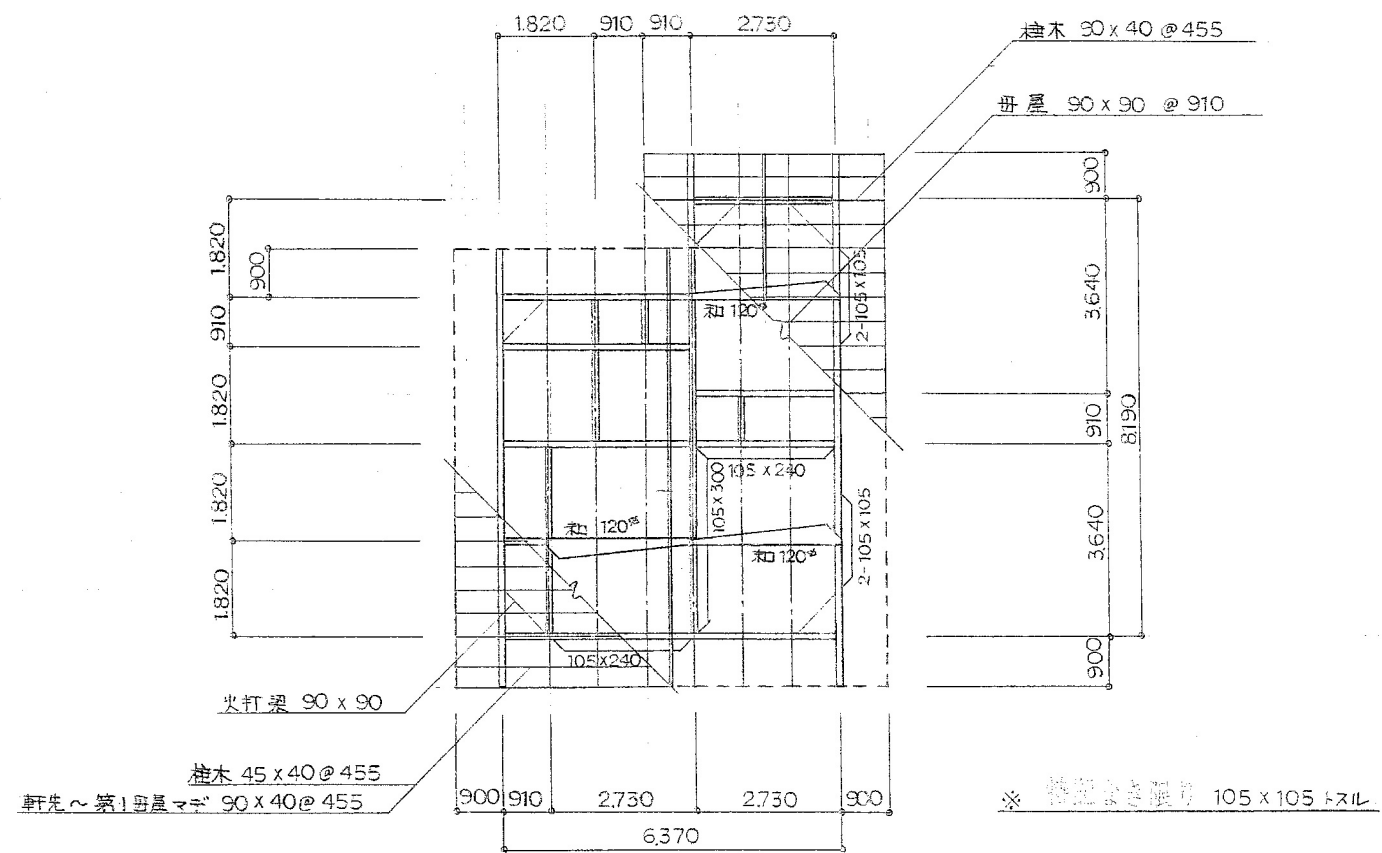




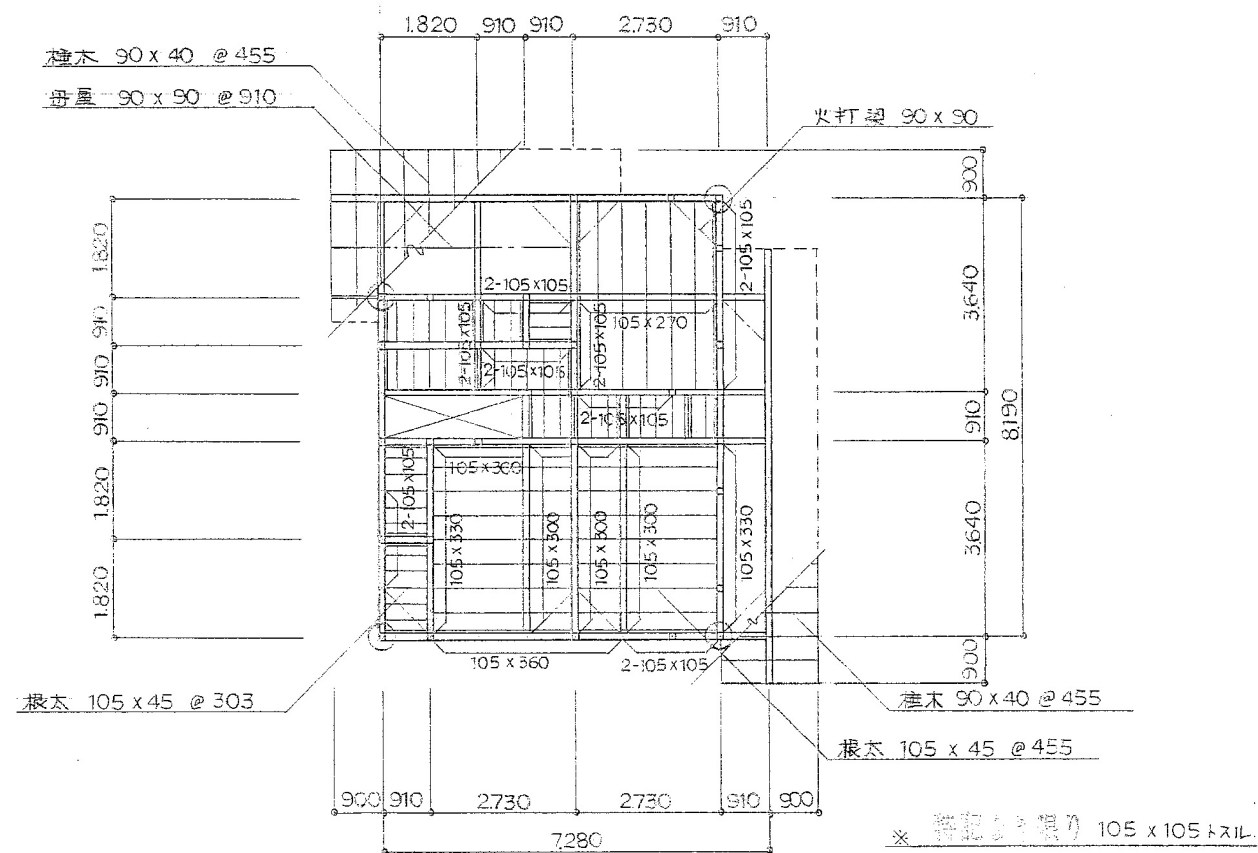
基礎伏図 S=1/100



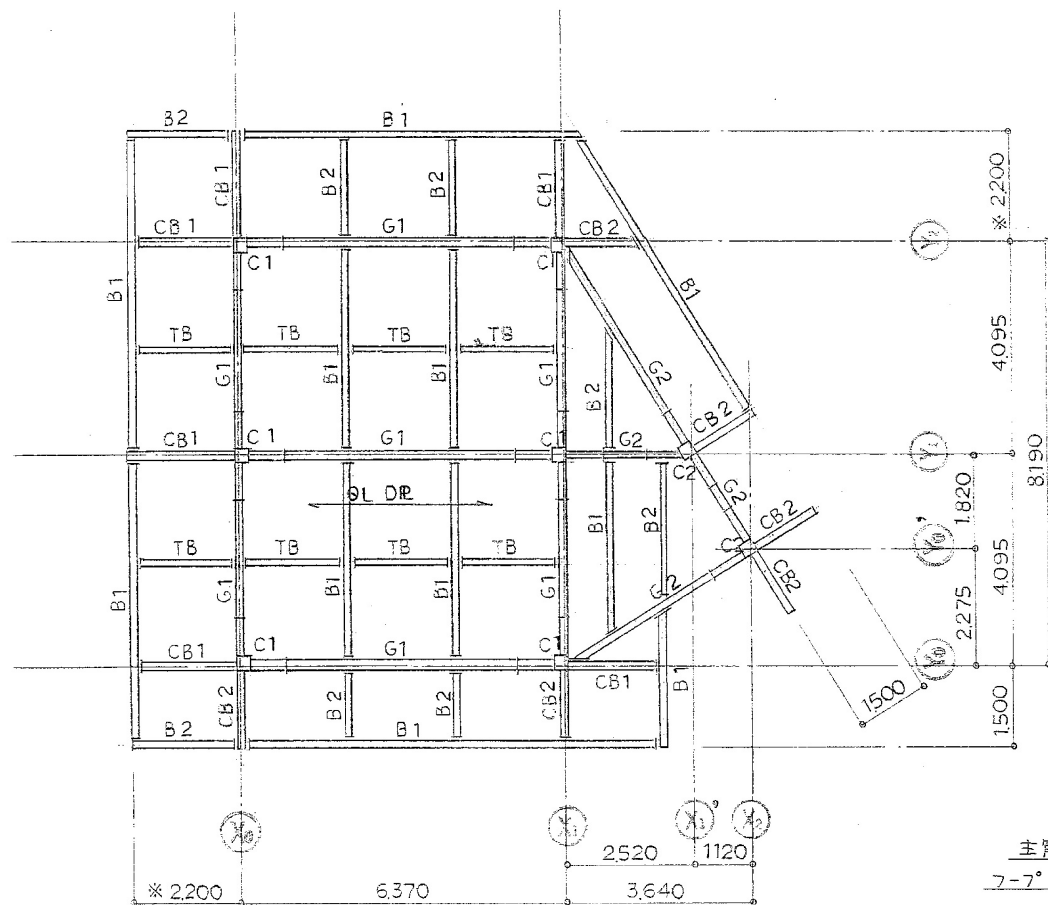
床伏図 S=1/100



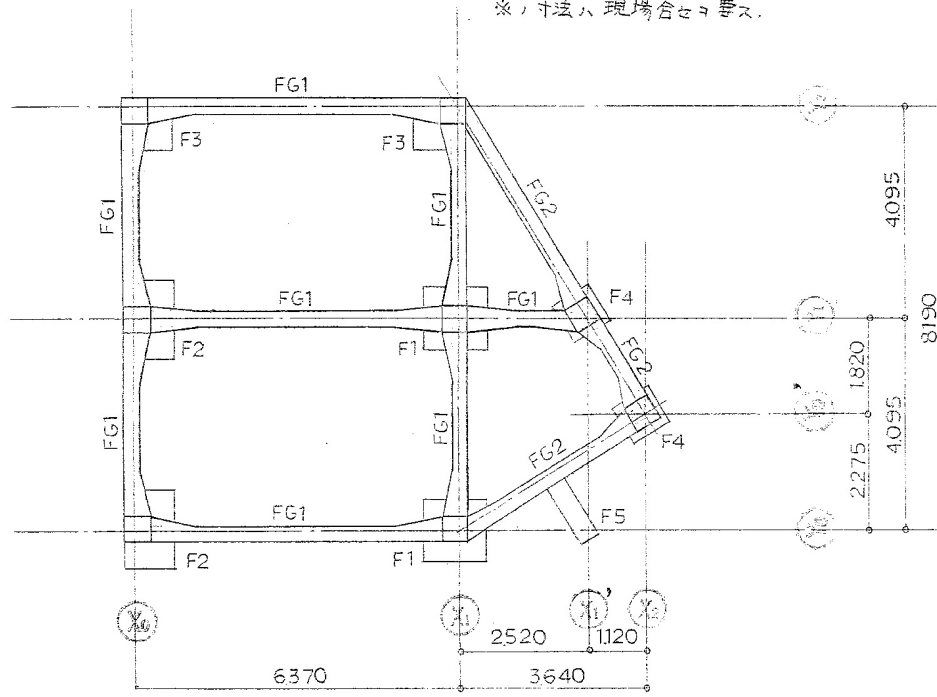
小屋伏図 S=1/100



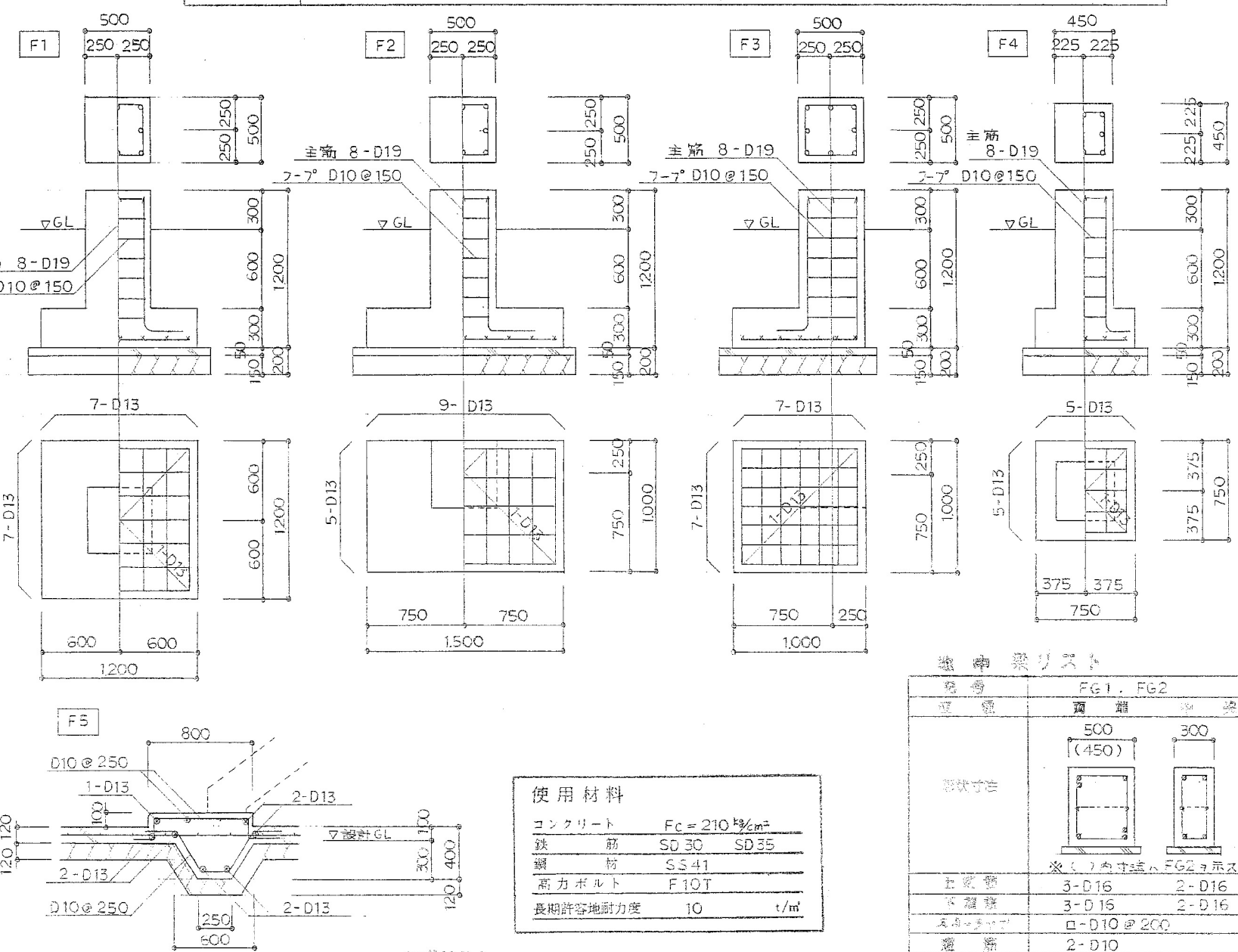
梁伏図 S=1/100



基礎伏図 S=1/100
※寸法は現場合点要ス。



基礎伏図 S=1/100



使用材料

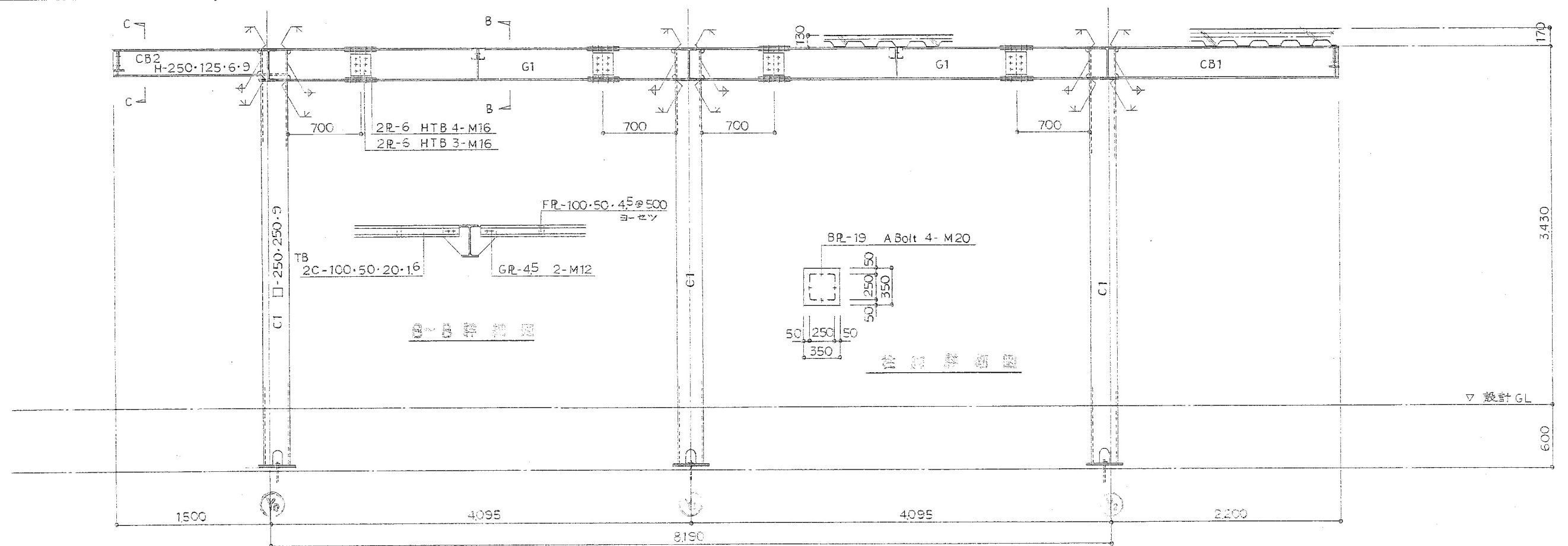
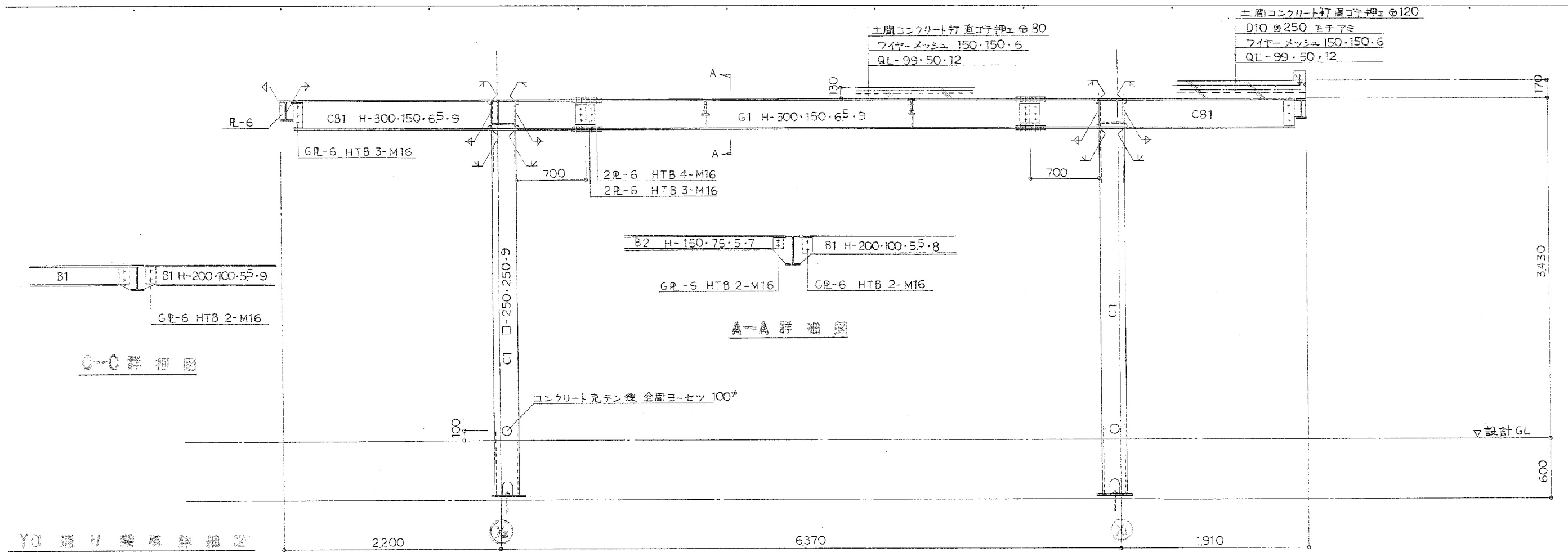
コンクリート	$F_c = 210 \text{ kg/cm}^2$
鉄筋	SD30 SD35
鋼材	SS41
高力ボルト	F10T
長期許容地耐力	10 t/m ²

鉄筋配列リスト

筋番号	筋径	筋間隔	筋位置
1	500	(450)	300
2	300		
3	200		
4	200		
5	200		
6	200		
7	200		
8	200		
9	200		
10	200		
11	200		
12	200		
13	200		
14	200		
15	200		
16	200		
17	200		
18	200		
19	200		
20	200		
21	200		
22	200		
23	200		
24	200		
25	200		
26	200		
27	200		
28	200		
29	200		
30	200		
31	200		
32	200		
33	200		
34	200		
35	200		
36	200		
37	200		
38	200		
39	200		
40	200		
41	200		
42	200		
43	200		
44	200		
45	200		
46	200		
47	200		
48	200		
49	200		
50	200		
51	200		
52	200		
53	200		
54	200		
55	200		
56	200		
57	200		
58	200		
59	200		
60	200		
61	200		
62	200		
63	200		
64	200		
65	200		
66	200		
67	200		
68	200		
69	200		
70	200		
71	200		
72	200		
73	200		
74	200		
75	200		
76	200		
77	200		
78	200		
79	200		
80	200		
81	200		
82	200		
83	200		
84	200		
85	200		
86	200		
87	200		
88	200		
89	200		
90	200		
91	200		
92	200		
93	200		
94	200		
95	200		
96	200		
97	200		
98	200		
99	200		
100	200		

部材リスト

G1	H-300×150×6.5×8	F-2E-6 HTB 4-M16	W-2E-6 HTB 3-M16
G2	H-300×150×5.5×8	F-2E-6 HTB 4-M16	W-2E-6 HTB 2-M16
B1	H-200×100×5.5×8		W-2E-6 HTB 2-M16
B2	H-150×75×5×7		W-2E-6 HTB 2-M16
CB1	H-300×150×6.5×9		
CB2	H-250×125×6×9		
C1	□-200×200×9.0		
C2	□-200×200×9.0		
TB	2C-100・50・20・16		
DL	QL-99・50・12		



1F 通り梁筋組図

旧大滝国民健康保険診療所解体工事 設計図

区分

名称

縮尺

医師住宅 1 架構詳細図

A2版: 1/30
A3版: 1/40

株式会社 丸岡設計

一級建築士 登録 第 107399 号 二宮 和夫

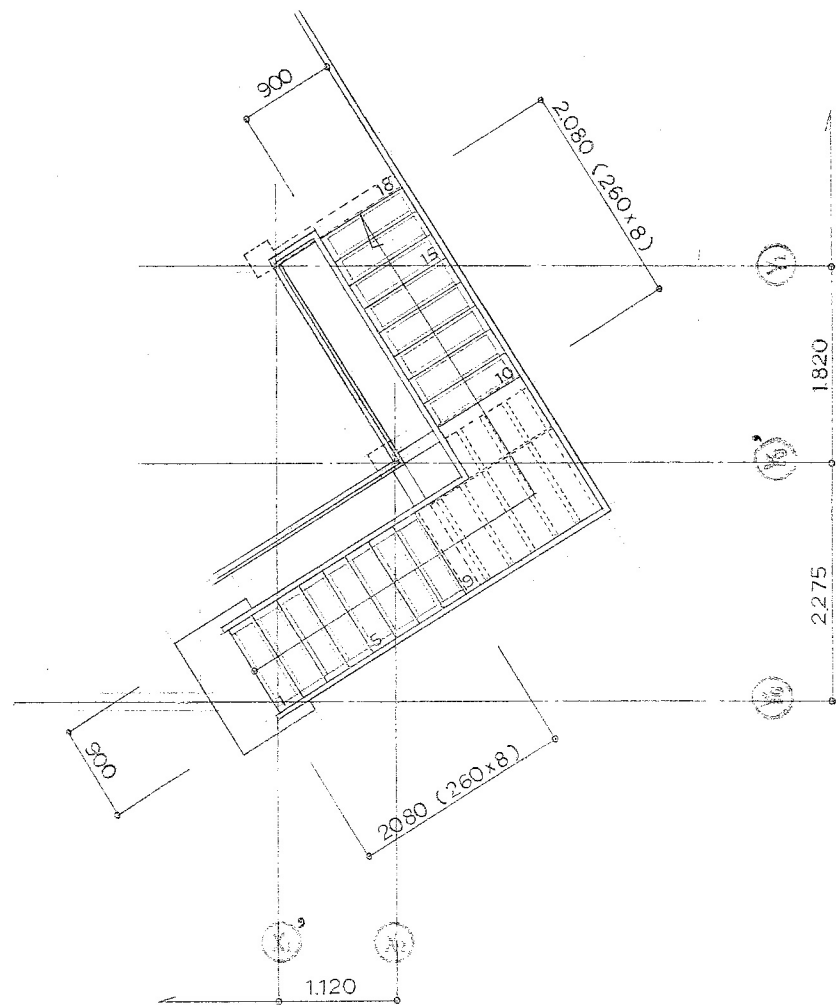
所長

主査

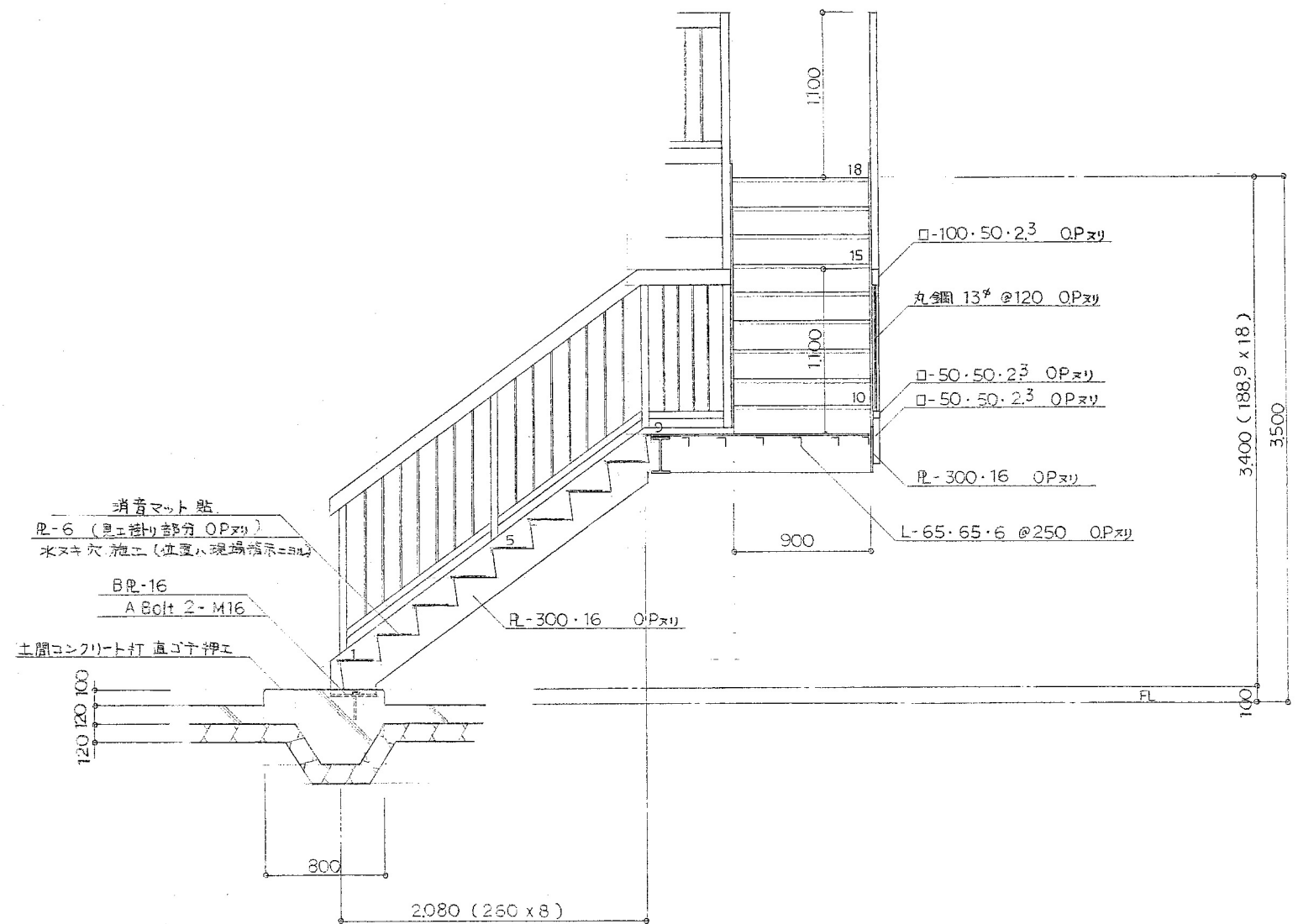
設計

日付

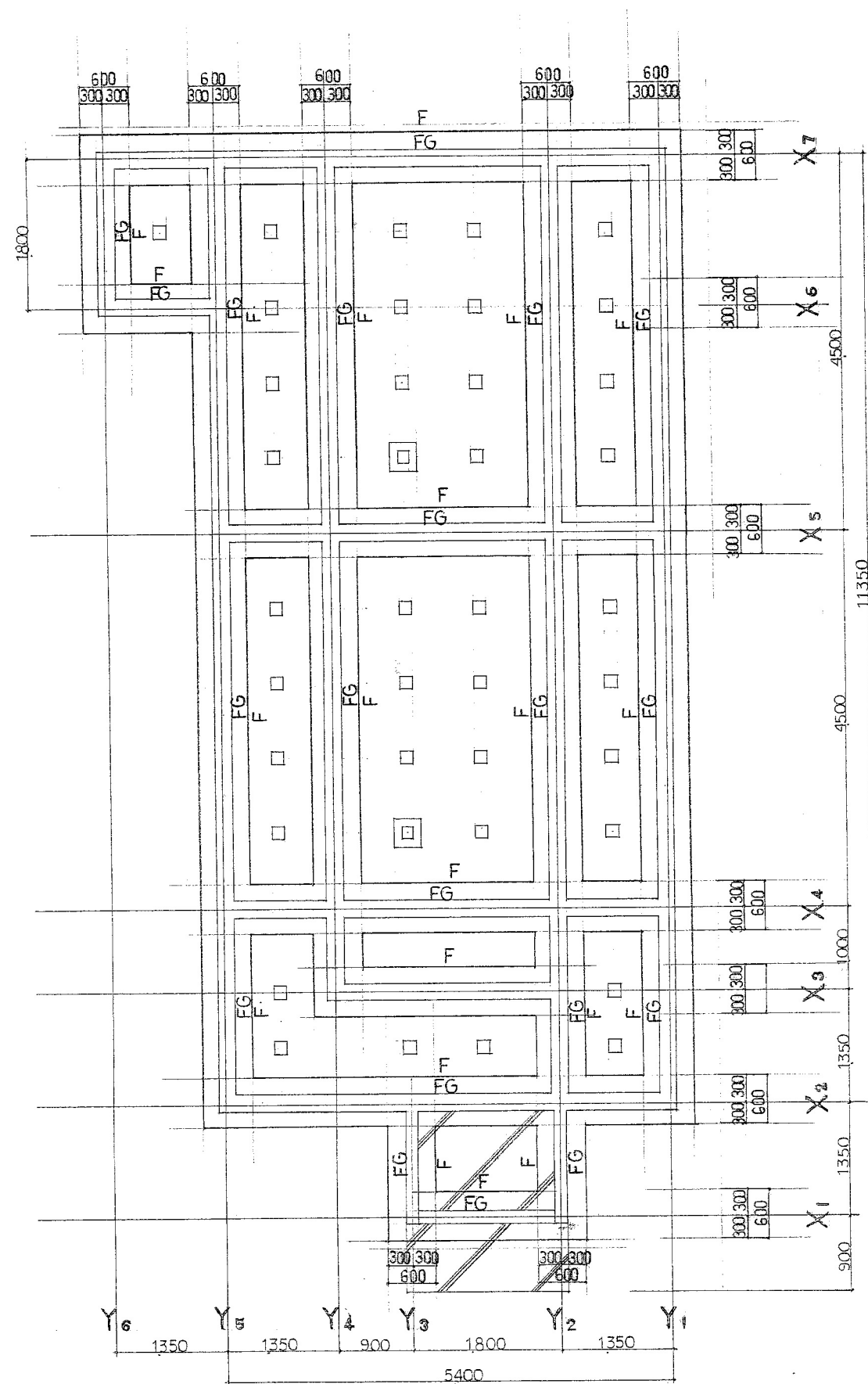
NO. S-03



平面図 縮尺 1/50

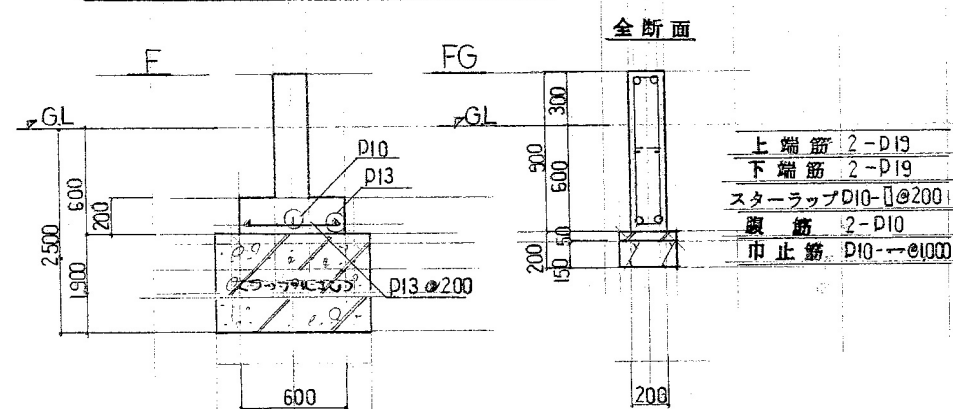


断面詳細図 縮尺 1/30



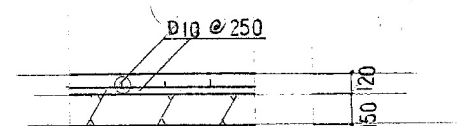
基礎伏図 S : 1/50

基礎 地中梁リスト S=1/30

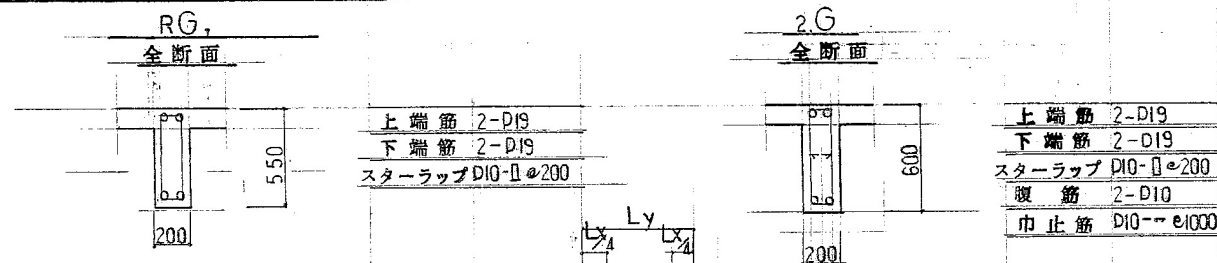


土間コンクリート S=1/30

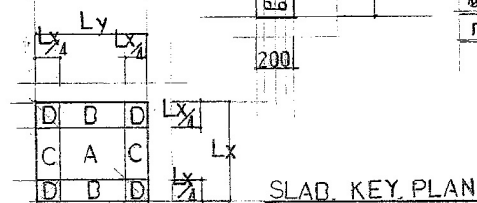
コンクリート強度 : $F_c = 180 \text{ kg/cm}^2$



大梁リスト S=1/30

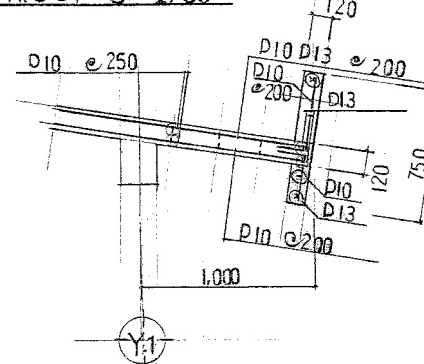


スラブリスト

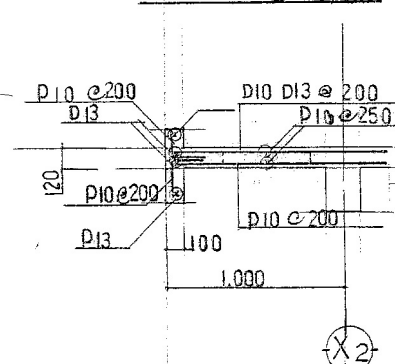


符号	厚さ	位置	短辺方向			長辺方向		
			端部 (D)	中央 (A)	隅部 (C/D)	端部 (C)	中央 (A)	隅部 (B/D)
RS1	120	上端筋	D10 D13 @200	D13 @400	D10 D13 @300	D10 @200	D10 @400	D10 @300
		下端筋	D10 @400	D10 @200	D10 @300	D10 @400	D10 @200	D10 @300
2.S1	120	上端筋	D10 D13 @200		D10 D13 @300	D10 @200		D10 @300
		下端筋	D10 @400	D10 @200	D10 @300	D10 @400	D10 @200	D10 @300
R-2.S2	120	上端筋		D10 @200			D10 @250	
		下端筋		D10 @200			D10 @250	

RCS1 S=1/30



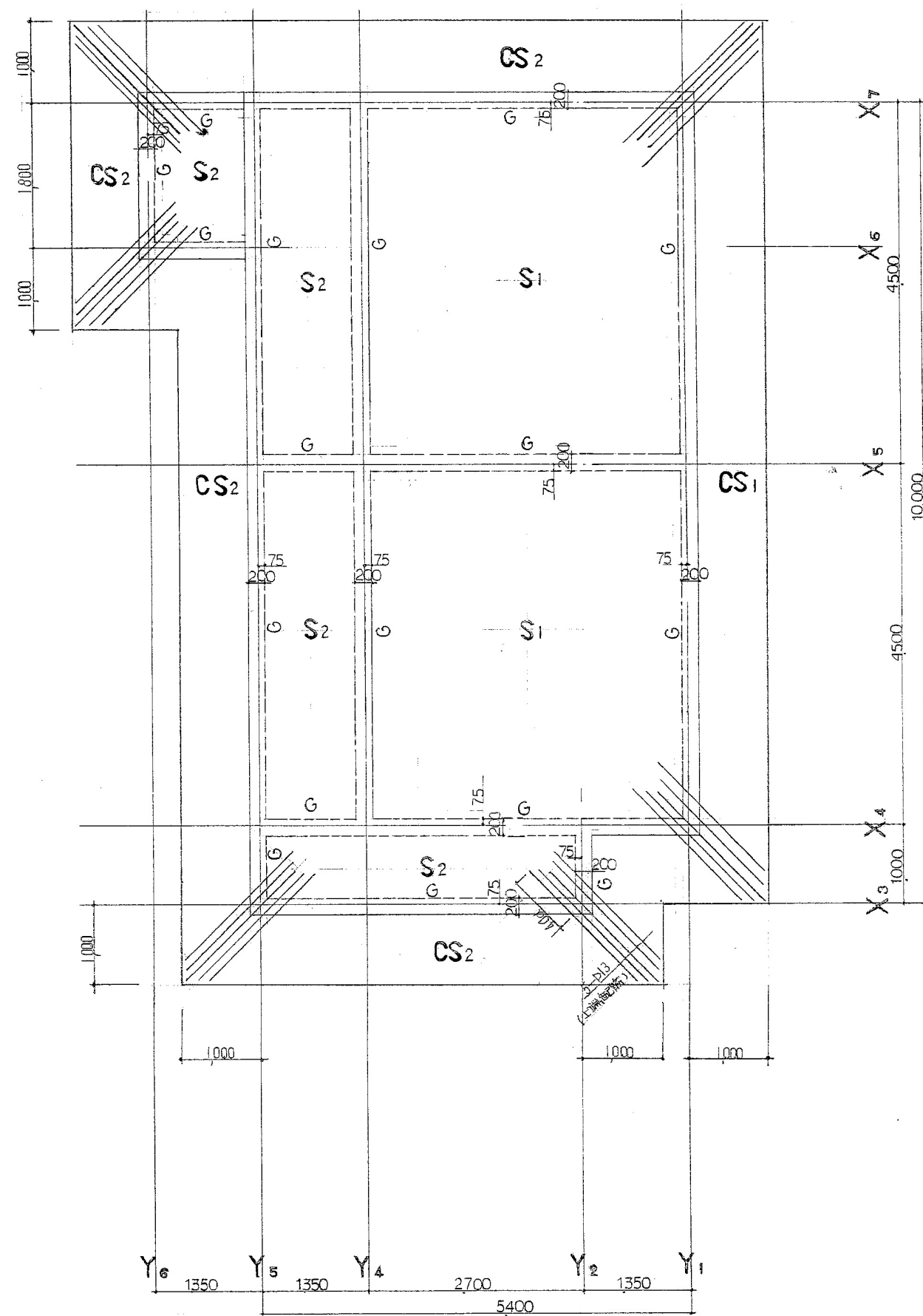
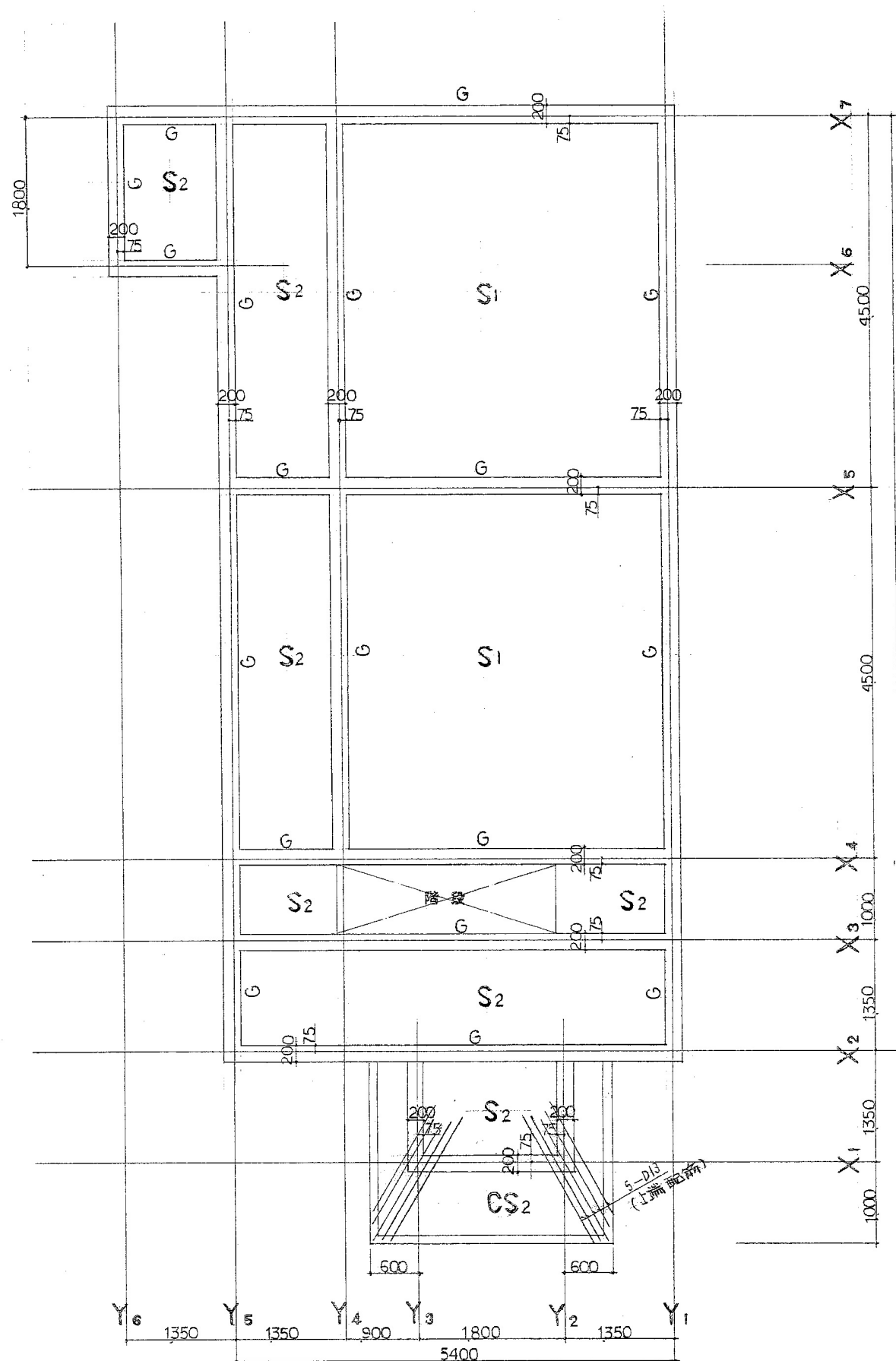
R-2.S2 S=1/30

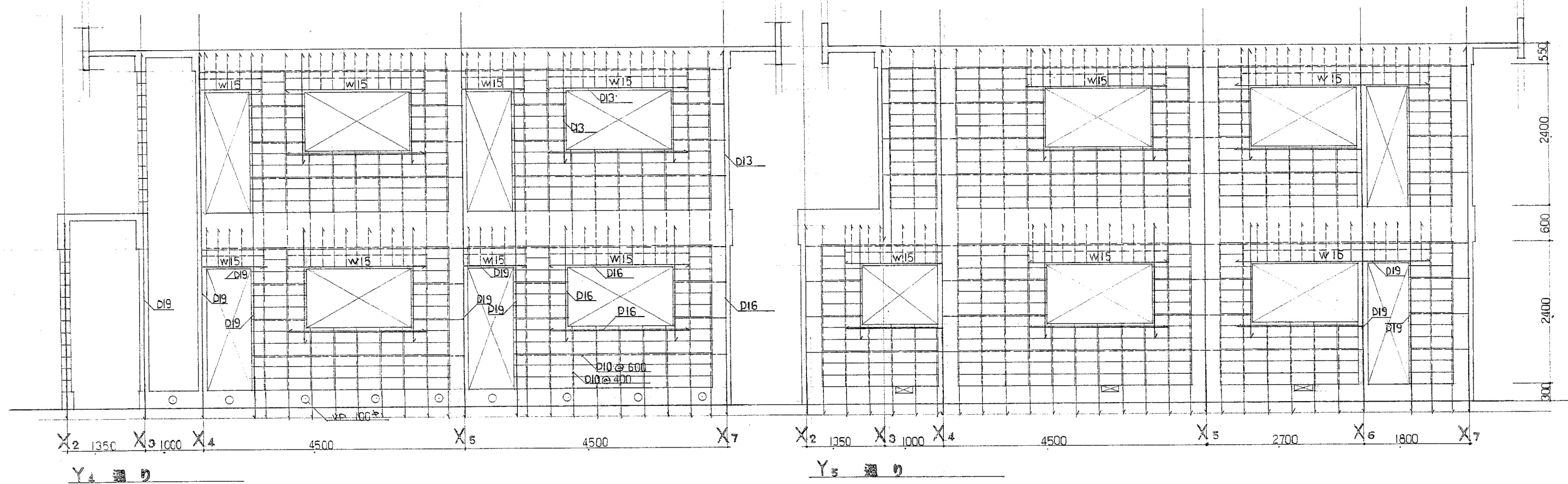
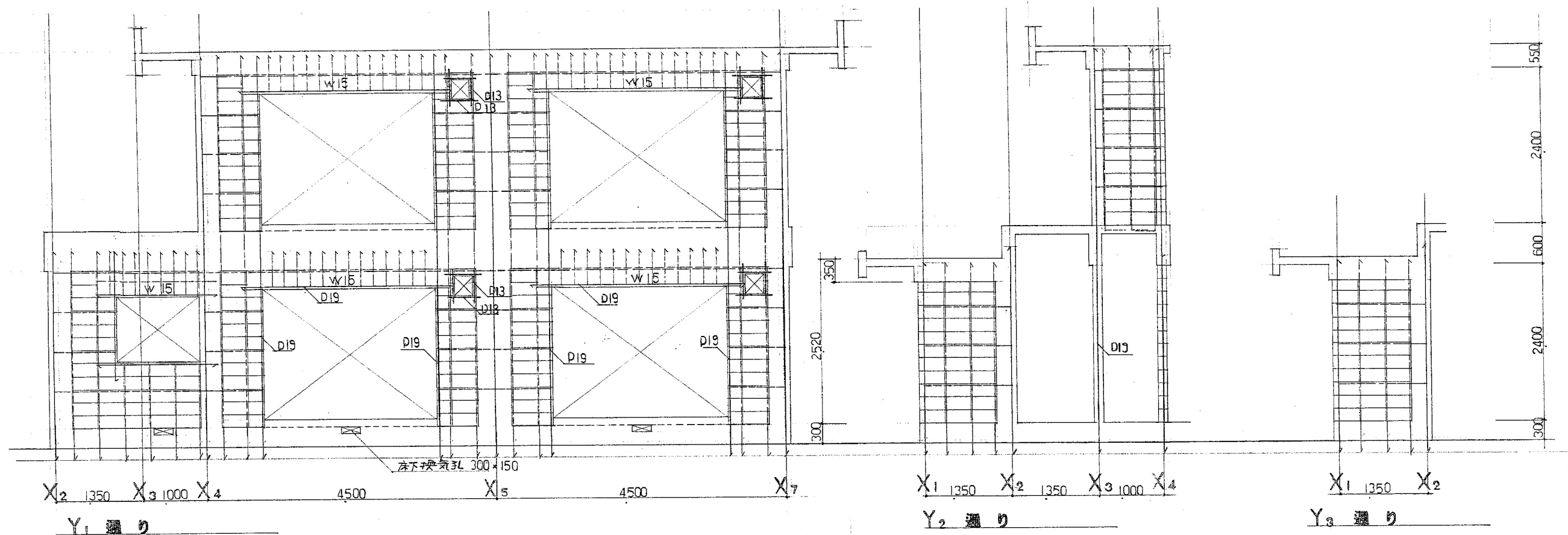


使用材料

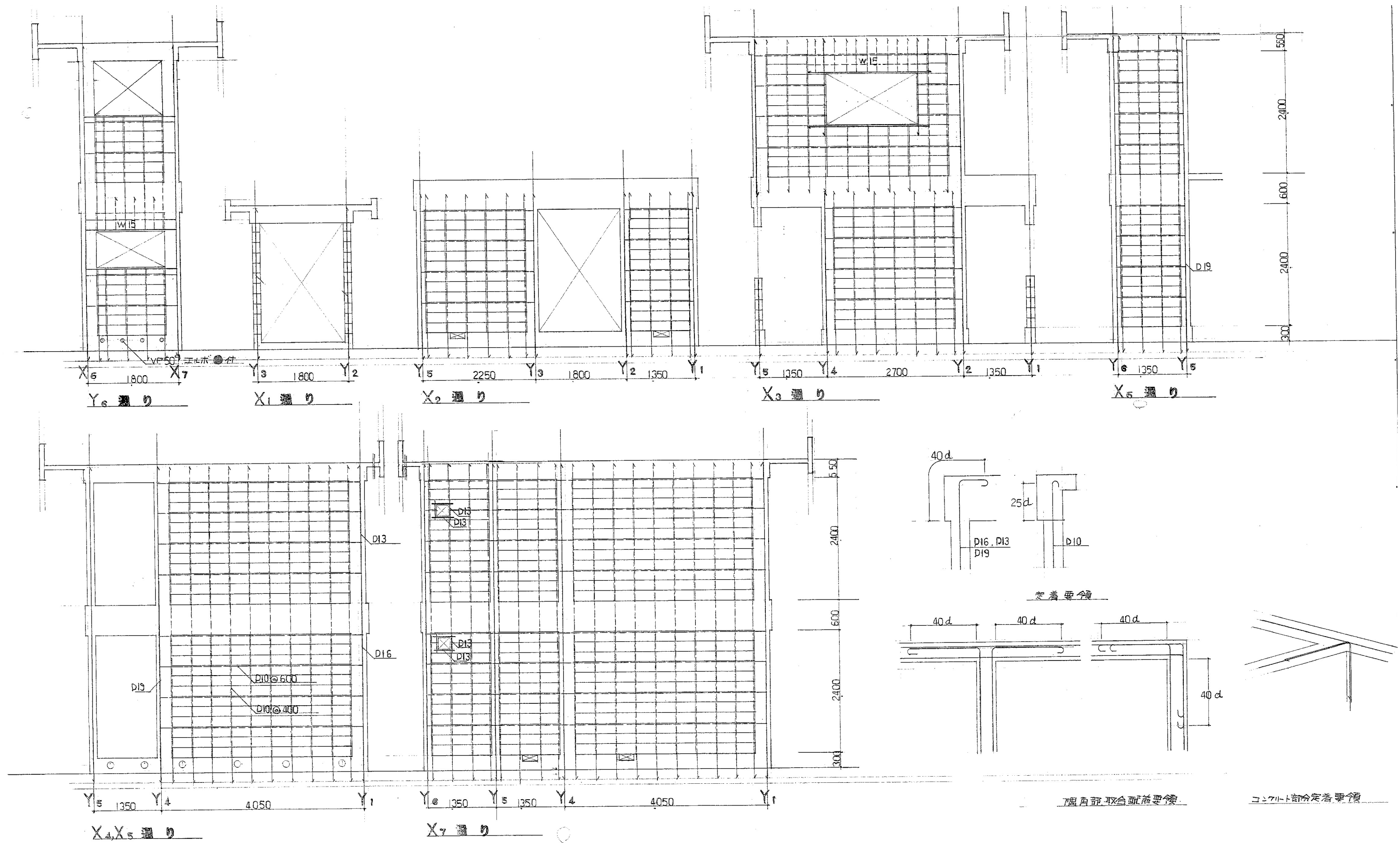
コンクリート強度 : $F_c = 210 \text{ kg/cm}^2$

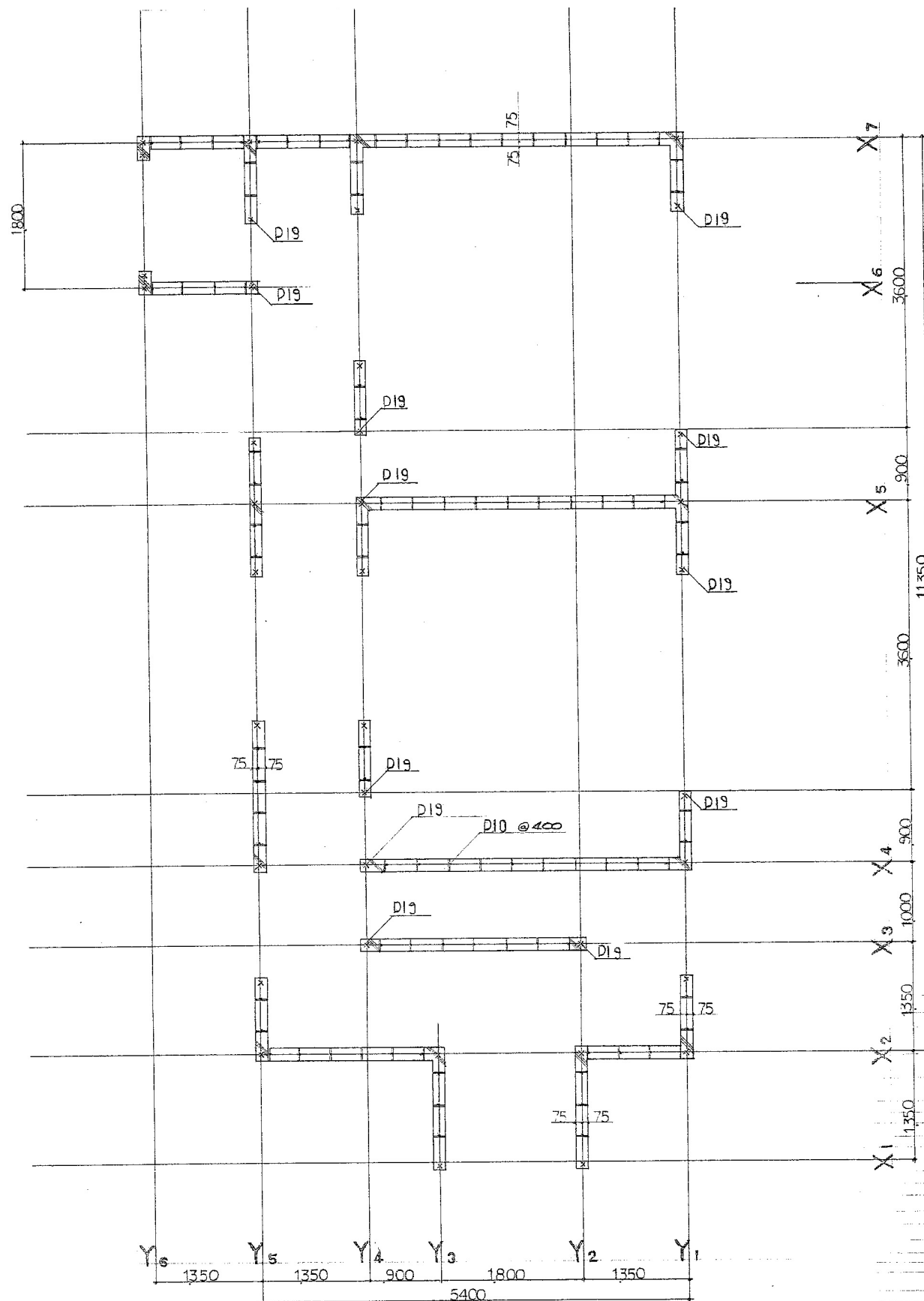
鉄筋 : SD : 30





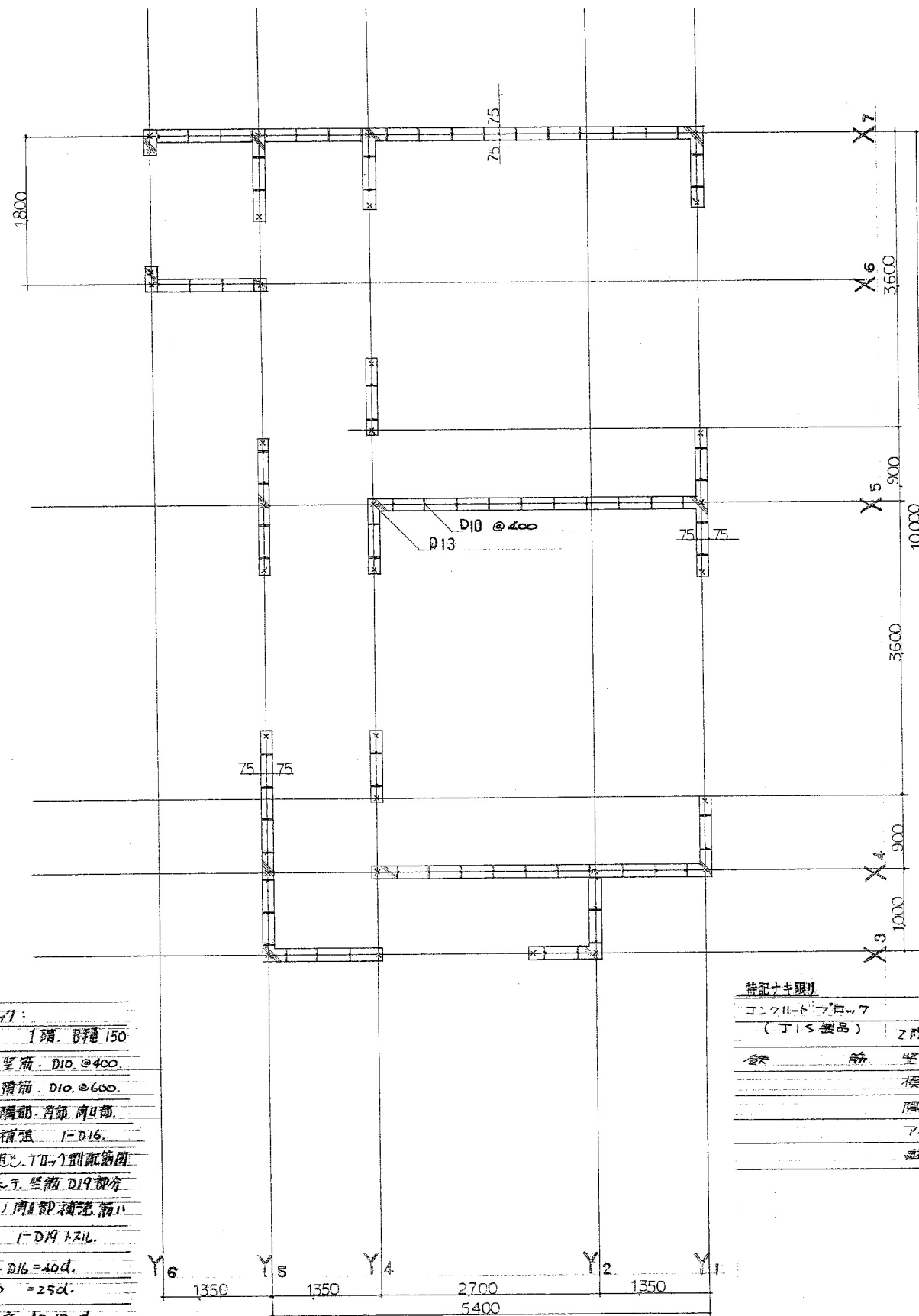
軸組図① S=1/50





1階ブロック割配筋図 S=1/50

特記ナキ限り
コンクリートフロー
(JIS製品) 1階 8種 150
鉄筋: 縦筋: D10 @ 400
横筋: D10 @ 600
隅部: 隅部隅部
補強: 1-D16
但し: T10-1割配筋図
ニテ: 縦筋 D19部分
1隅部補強筋ハ
1-D19トスル
T10-1: D19 D16 = 40d
D10 = 25d
縦筋: 変ホ L = 40d



2階ブロック割配筋図 S=1/50

特記ナキ限り
コンクリートフロー
(JIS製品) 2階 B種 150
鉄筋: 縦筋: D10 @ 400
横筋: D10 @ 600
隅部: 隅部隅部隅部補強 1-D13
T10-D13 = 40d, D10 = 25d
縦筋: 変ホ L = 40d

鉄筋コンクリート共通事項

1. 特記なき構造仕様は「日本建築学会建築工事標準仕様書」による。

2. 鉄筋の定着長さおよび鉄筋の重ね長さは下表数値以上とする。

コンクリートの種類	鉄筋の種類	鉄筋の径	定着長さ	重ね長さ	備考
普通コンクリート ($f_c=23$)	SD30	210	40d	30d	
	SD35	210	40d	35d	
軽集約コンクリート ($f_c=15$)	SD30	210	40d	35d	
	SD35	210	40d	40d	

(注) 軽集約コンクリート $f_c=150$ kg/cm^2 以下

S1: 柱主筋、大梁主筋、開口部補強筋、および小梁床版、端部上端筋中央下端筋など引張応力を受ける場所

S2: 小梁、床版の端部下端筋、中央上端筋など圧縮応力を受ける場所

米: 耐力壁は、97筋、30筋、補強筋、および開口部補強筋は、S1による。

非耐力壁はS2による。

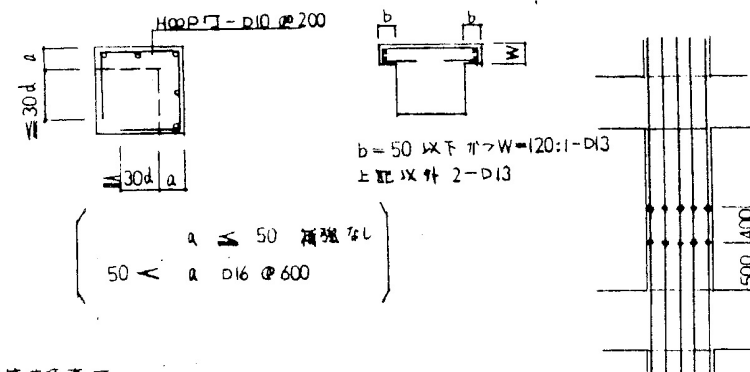
鉄筋の表示記号	SD30	SD35
記号	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
SD30・SD35	D10, D13, D16, D19, D22, D25, D29	D10, D13, D16, D19, D22, D25, D29

例: SD30, SD35, 鉄筋の径は、この表の通りとする。

4. 柱配筋共通事項

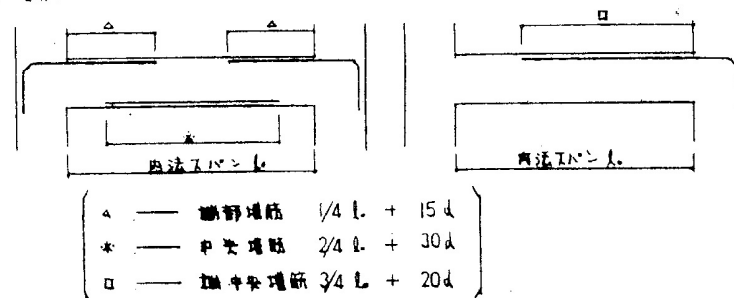
- 1) D16以上の主筋の継手は、 π 圧接とする。
- 2) 出隅部分の主筋には、 π 圧接とする。
- 3) 梁の上端下端、各主筋直下に、筋D13を配す。
- 4) 筋D10 @ 100とする。
- 5) 筋D10位置は、1本毎に交互する。
- 6) 柱の増打部配筋

7. 主筋の圧接要領



5. 梁配筋共通事項

- 1) D16以上の主筋の継手は、 π 圧接とする。
- 2) 出隅部分の主筋には、 π 圧接とする。
- 3) 筋D10は、梁高600以上は2-D10、以下はD10 @ 400とする。
- 4) 柱面および小梁面位置に、S.T.P.とD13を使用する。
- 5) 増筋は、下図による。



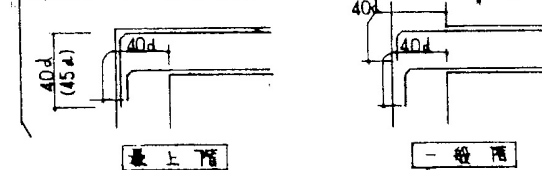
6. 鉄筋の引き

d	引き (mm)
D25	43
D22	38
D19	33
D16以下	28

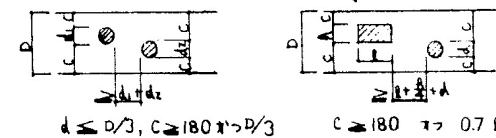
7. 増打部配筋

$a \leq 50$ 補強なし
 $a > 50$ 2-D16
梁S.T.P.と床版面に π 圧接とする。

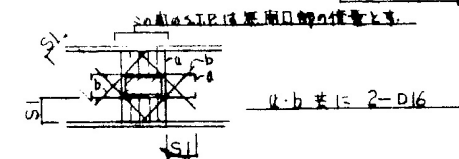
8. 定着長さ (注) () 内はコンクリート強度 180 kg/cm^2 以下



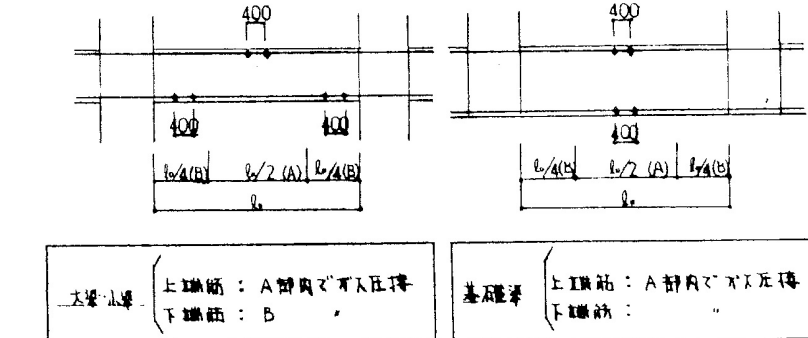
6. スリット孔補強筋 スリット孔の位置寸法・制限



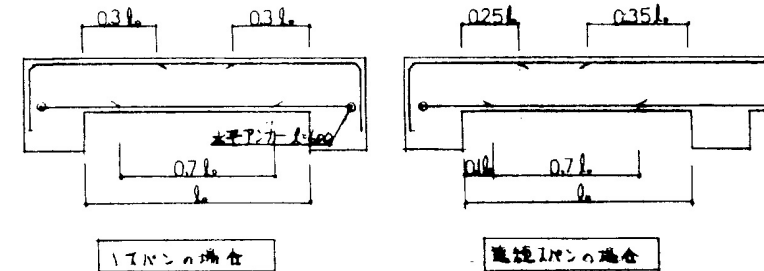
d	a	b
50以下	2-D10	2-D10
50以下	2-D13	2-D13
100以下	2-D16	2-D16
150以下	2-D19	2-D19
200以下	2-D22	2-D22



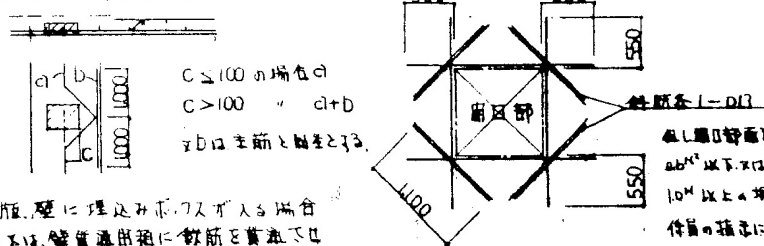
7. 梁の主筋の圧接要領



8. 小梁の配筋要領

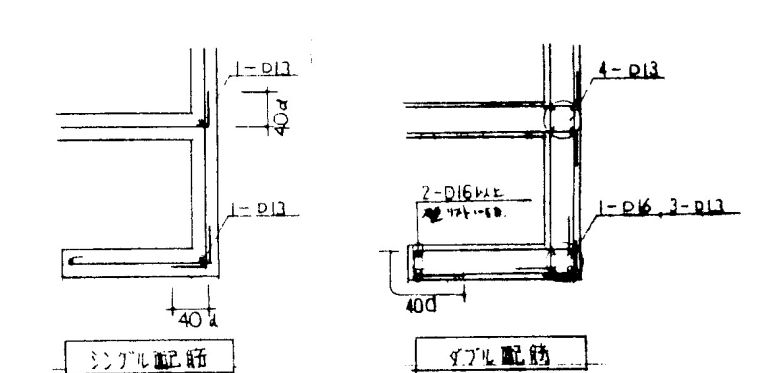


9. 床版開口部補強筋

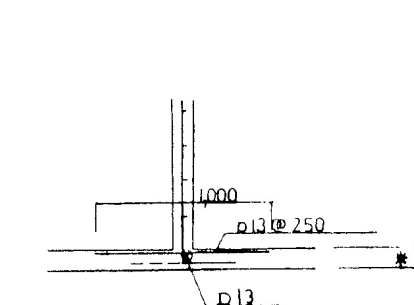


床版開口部に埋込み筋が入る場合、床版は、壁面開口部に鉄筋を貫通しない事。

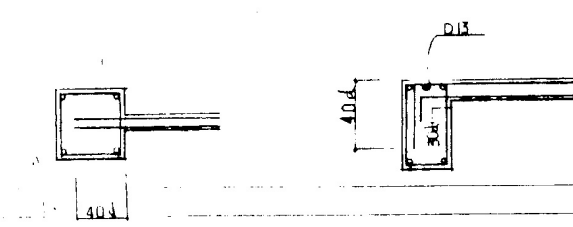
10. 壁端部隅角部補強筋



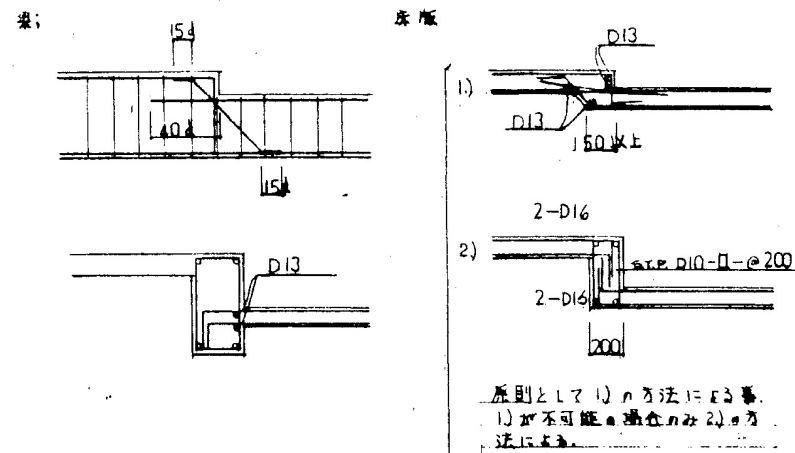
11. スラブの上に直接コンクリート壁またはCBが乗る場合



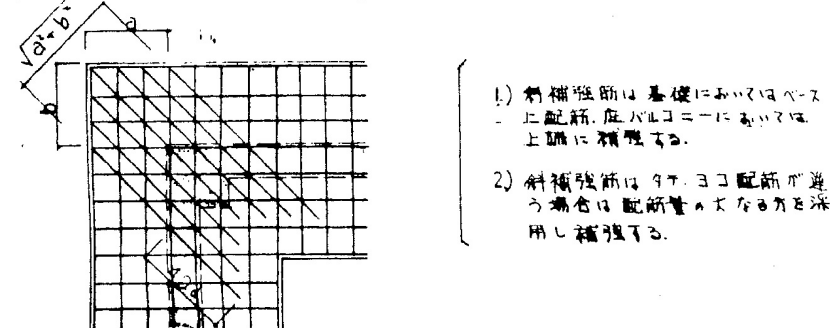
12. 壁・床版開口部の定着



13. 梁・床版の組立て補強方法

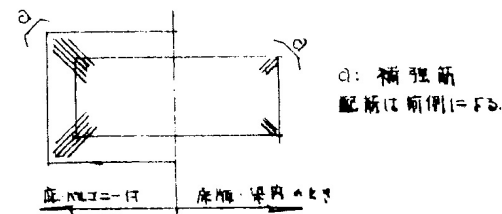


14. 面基礎・ベ-ス・庇・バルコニーの隅部補強

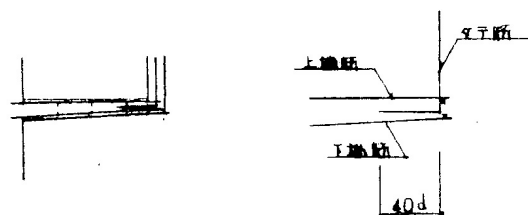


15. 亀裂防止の補強

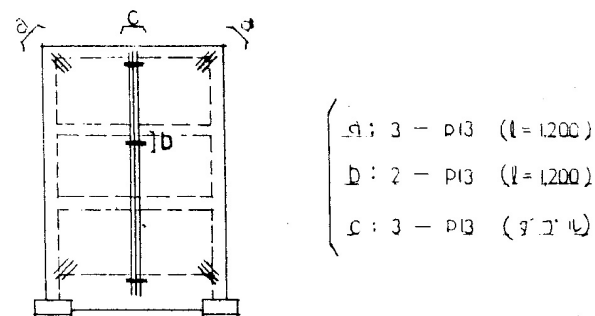
- 1) 屋根及び一般階の床版の位置に下記のとおり補強する。



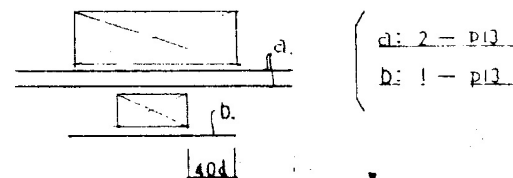
- 2) 連続する屋根片持ち出し版及びバルコニーの補強



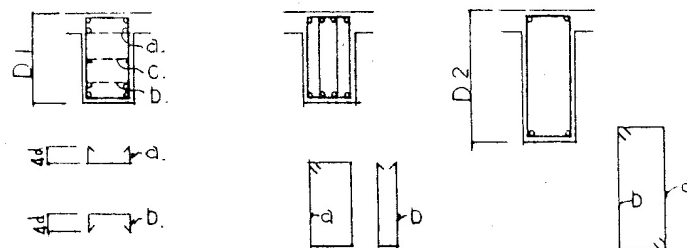
- 3) 細長い断製壁及び単側壁に補強筋を入れる。
×断製壁に水平等々集中荷重が加わる場合は、下記のとおり補強筋(D)(C)を入れる事。



- 4) 開口部が接近している場合は開口部補強筋の他に下記のとおり補強する。



16. 主筋2段筋及びS.T.P.ダルの場合の配筋方法

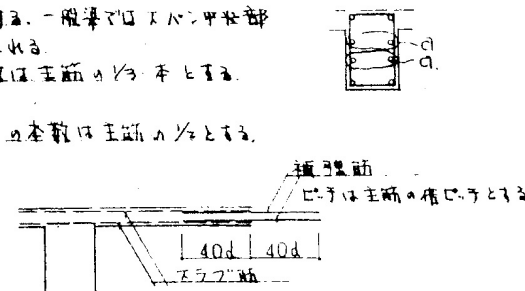


- 1) d・D共にS.T.P.3段あきに配置する。
- 2) Cは梁径D1≥600となる場合配筋する。
- 3) D2≥1000の場合、D2<1000の場合は2)による。

17. コンクリート打継部分の剪断補強

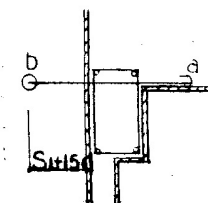
打継面において新旧コンクリート打込み日時が1週間以上経過した場合に適用する。

- 1) 打継箇所は剪断力の最小部に設ける。一般梁でスパン中央部打継部分には下記の補強筋を入れる。
d: 補強筋一主筋と同等本数は主筋の1/3とする。
- 2) 1)以外の箇所に設ける場合はdの本数は主筋の1/2とする。
- 3) スラブの打継の場合。



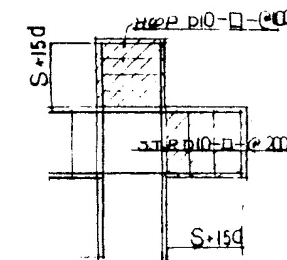
18. 差し筋

- 1) 差し筋を行なう場合は、内側d部に必ず7-7を付け、外側D部も同様鉄筋を7-7を付ける事。
- 2) 梁の場合には必ず異形筋を使用する事。

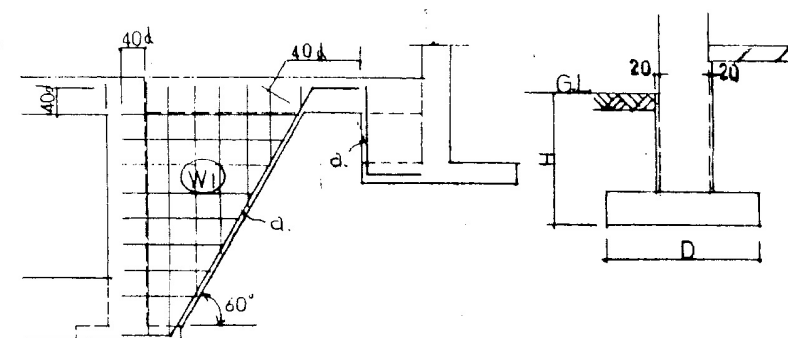


19. 柱・梁に埋込みがある場合

- 1) 主筋は柱梁共にハ-チ部まで延ばす事。
- 2) ハ-チ部分は、軽量コンクリート又はスモルタルとし、現場の状況に応じ指示する。
但し、地下の場合は普通コンクリートとし鉄筋に絶縁テープ等を巻く事。
- 3) SはS1以上とし、現場員の指示を受ける事。



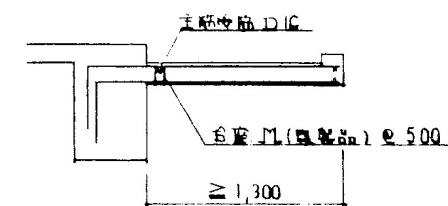
20. 基礎・袖壁の補強

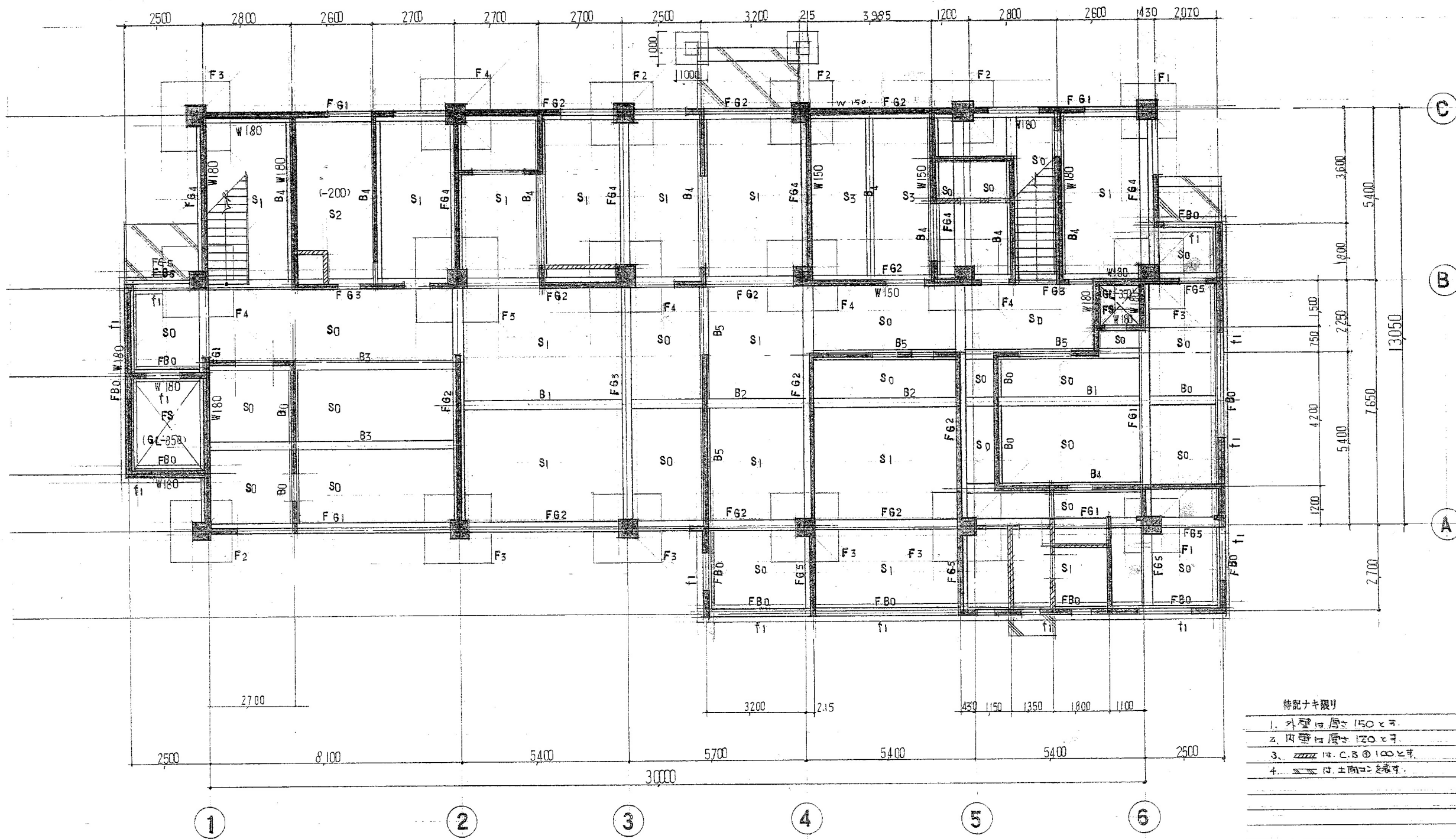


W1: 厚さ180以上の配筋は壁リストに準じる。

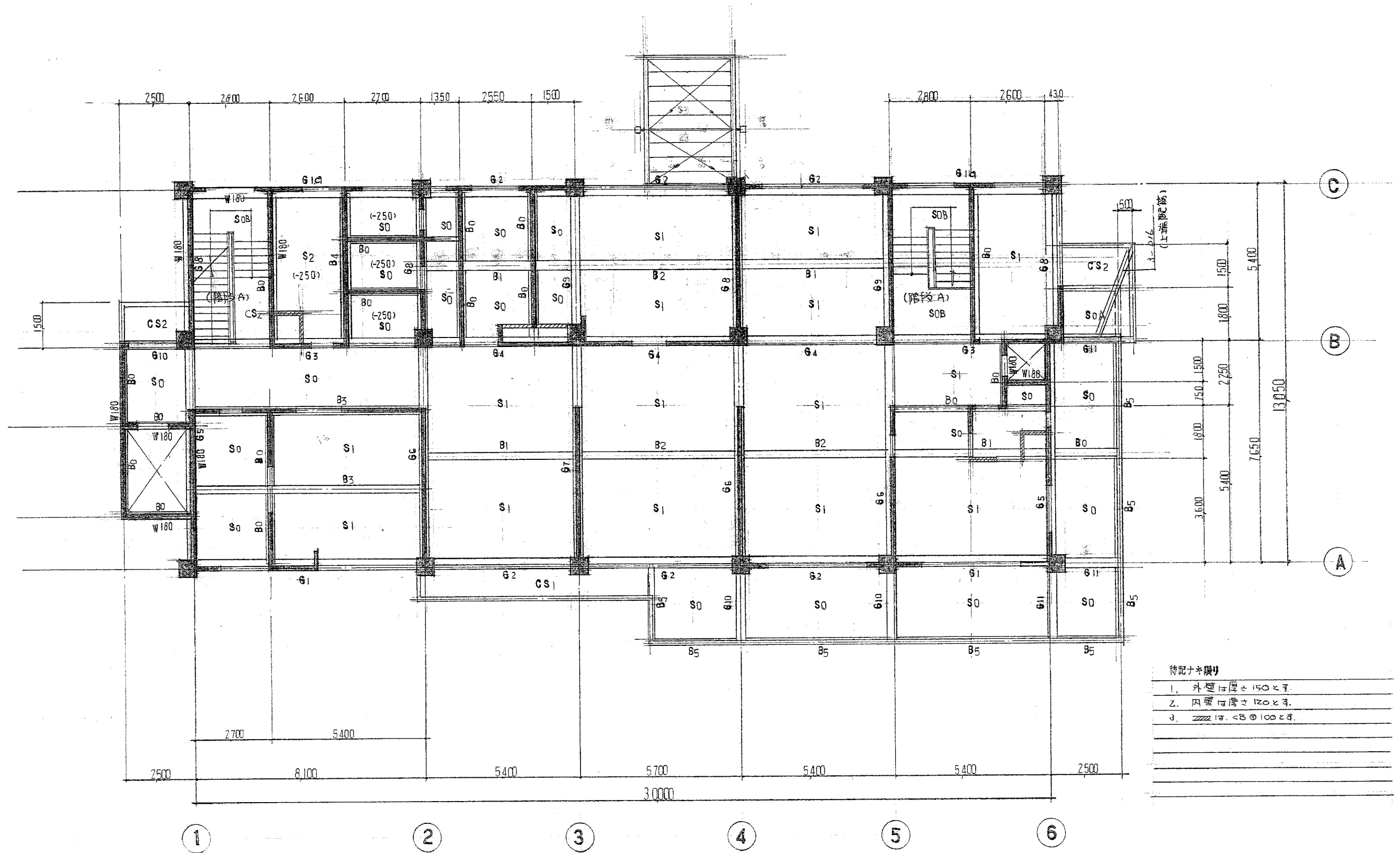
d: 補強筋 2-10中堅主筋位。

21. キャベツスクリューの主筋受筋

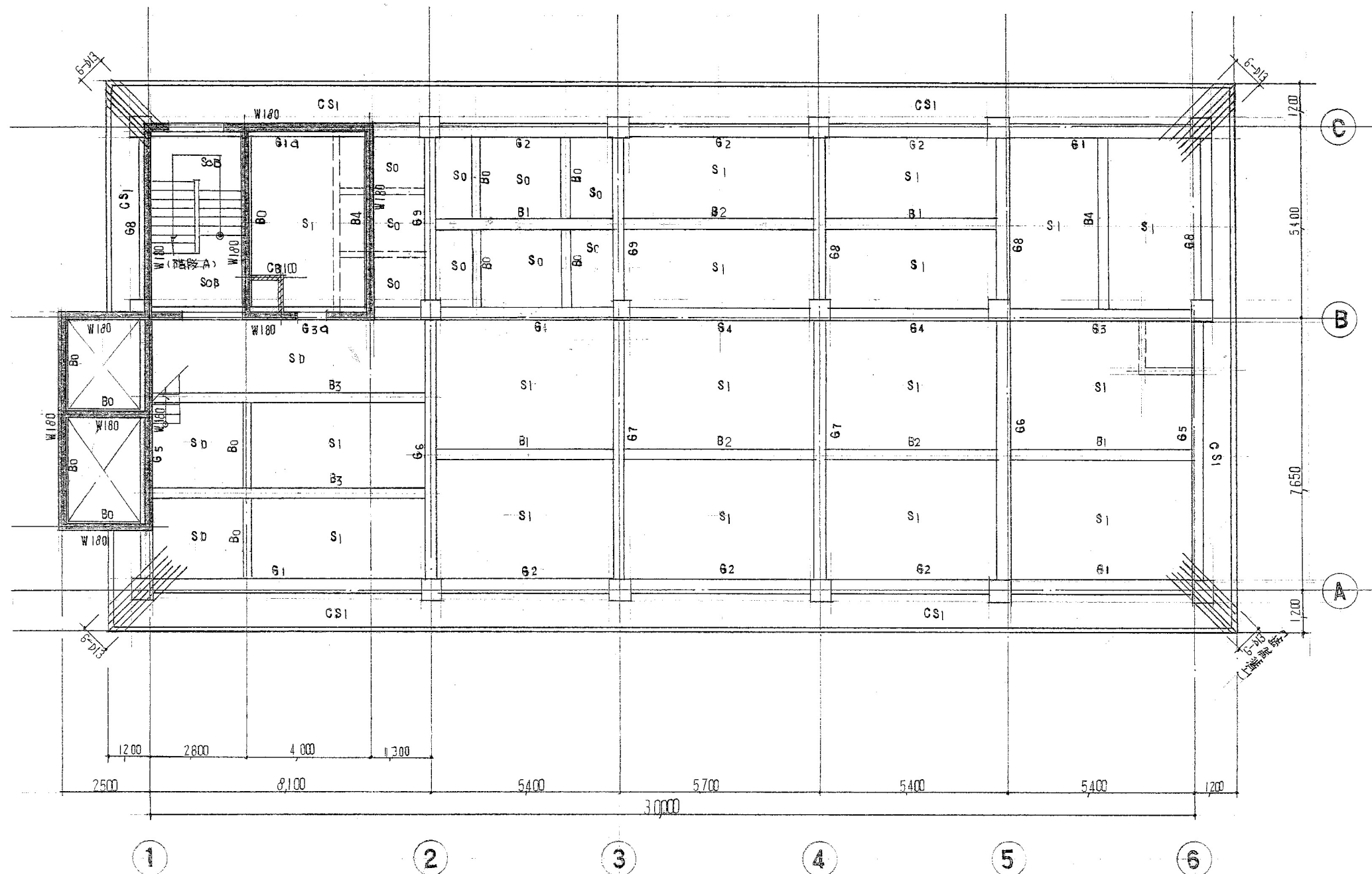




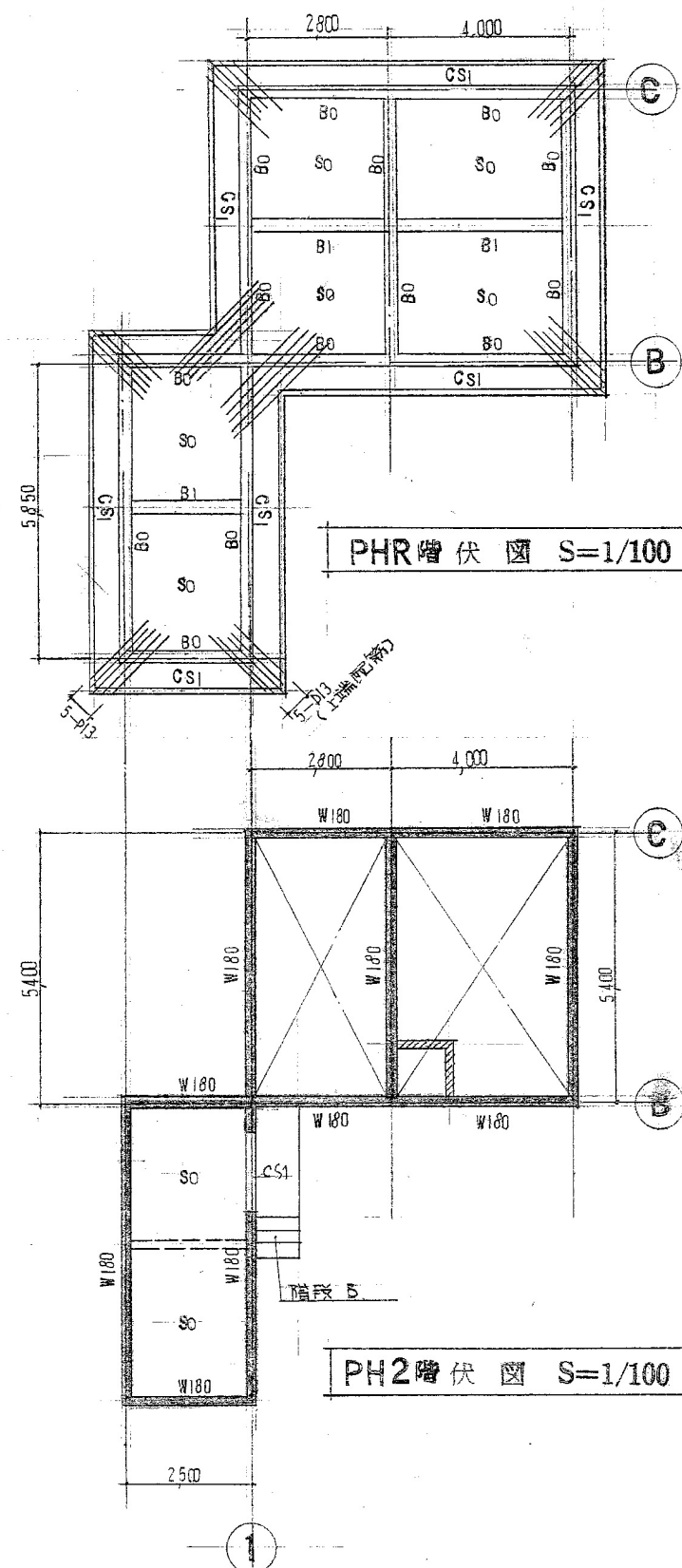
1階基礎伏図 S=1/100



2階伏図 S=1/100

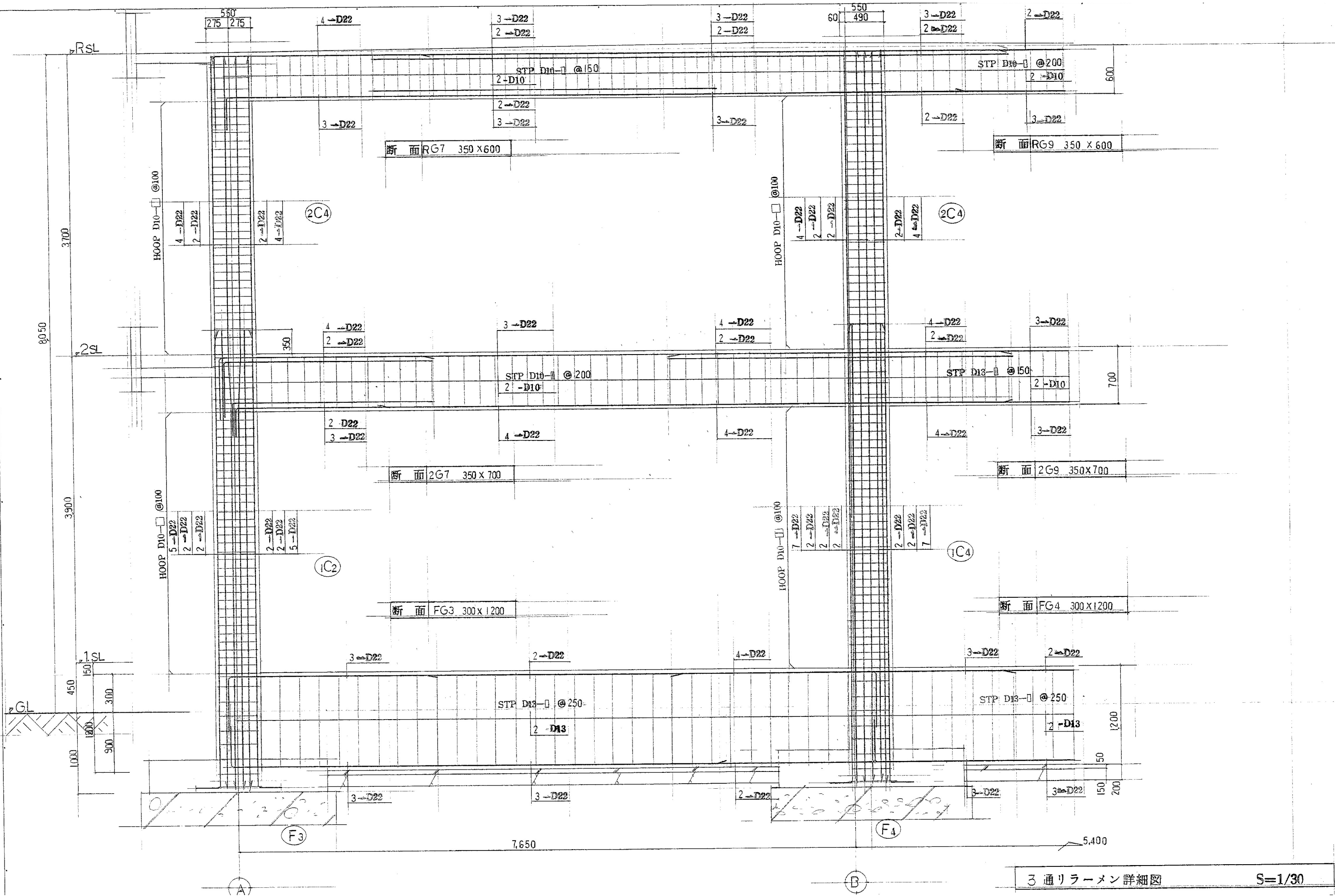


R階伏図 S=1/100



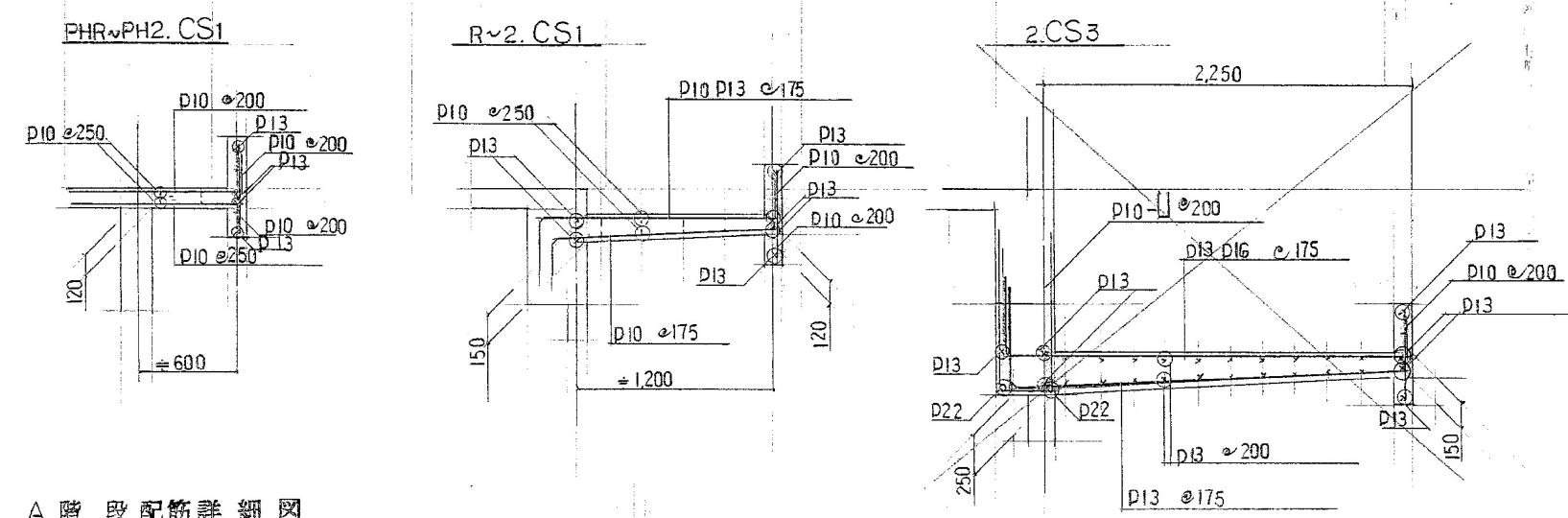
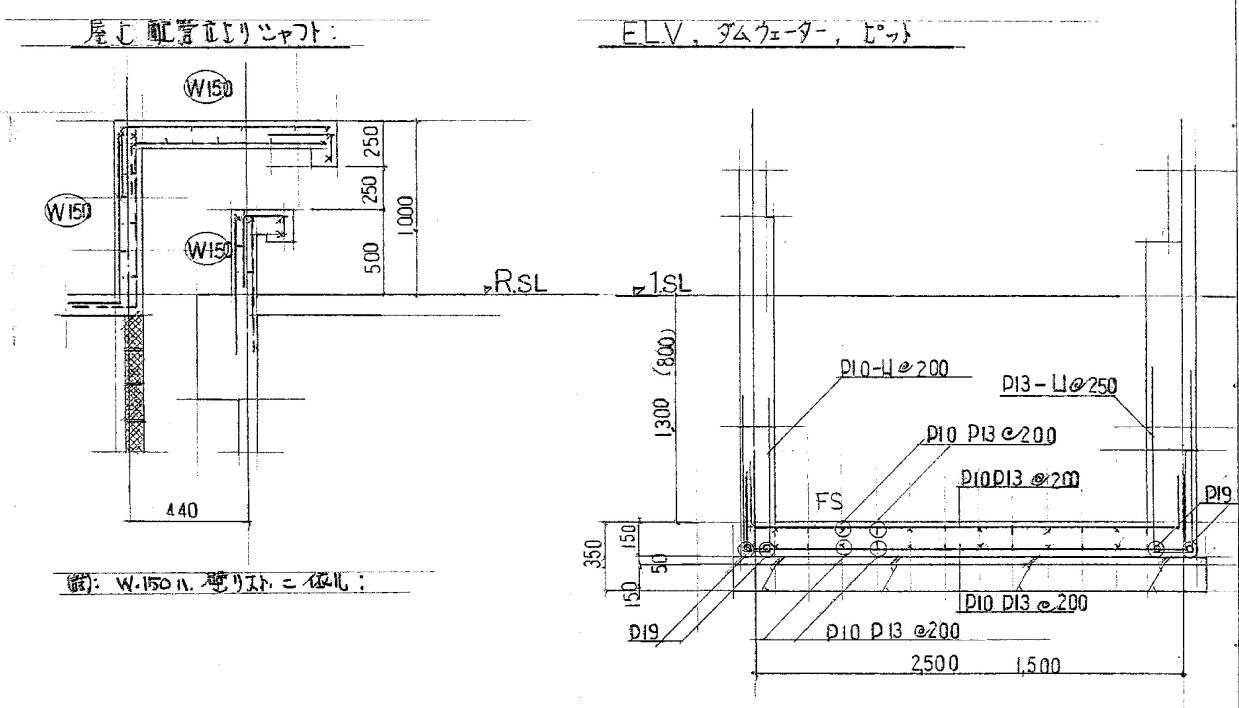
PHR階伏図 S=1/100

PH2階伏図 S=1/100



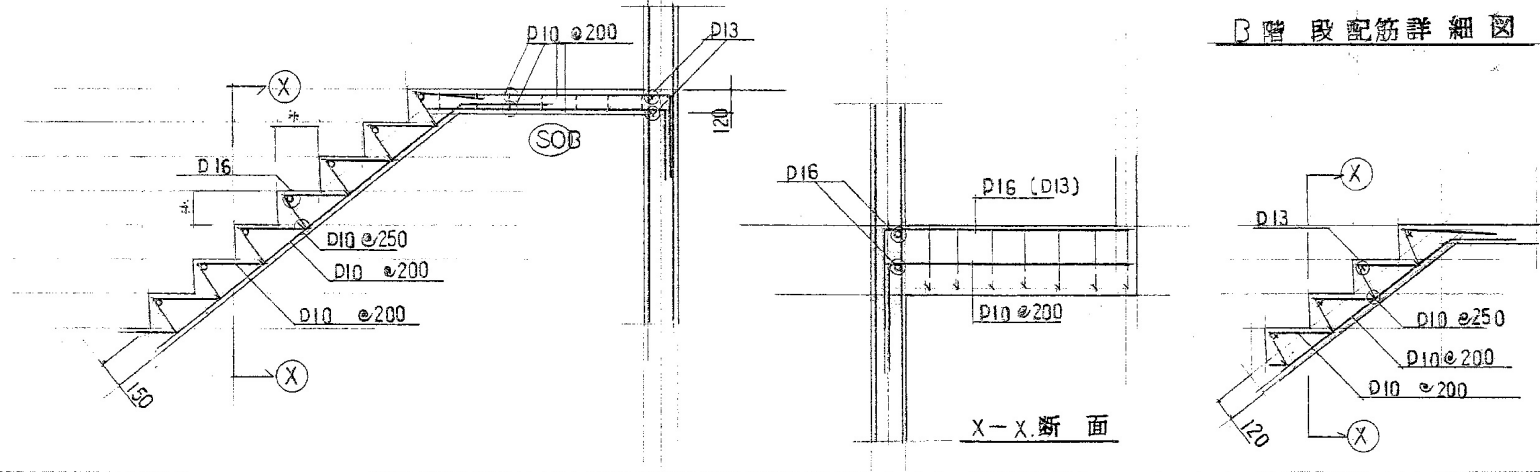
3 通りラーメン詳細図 S=1/30

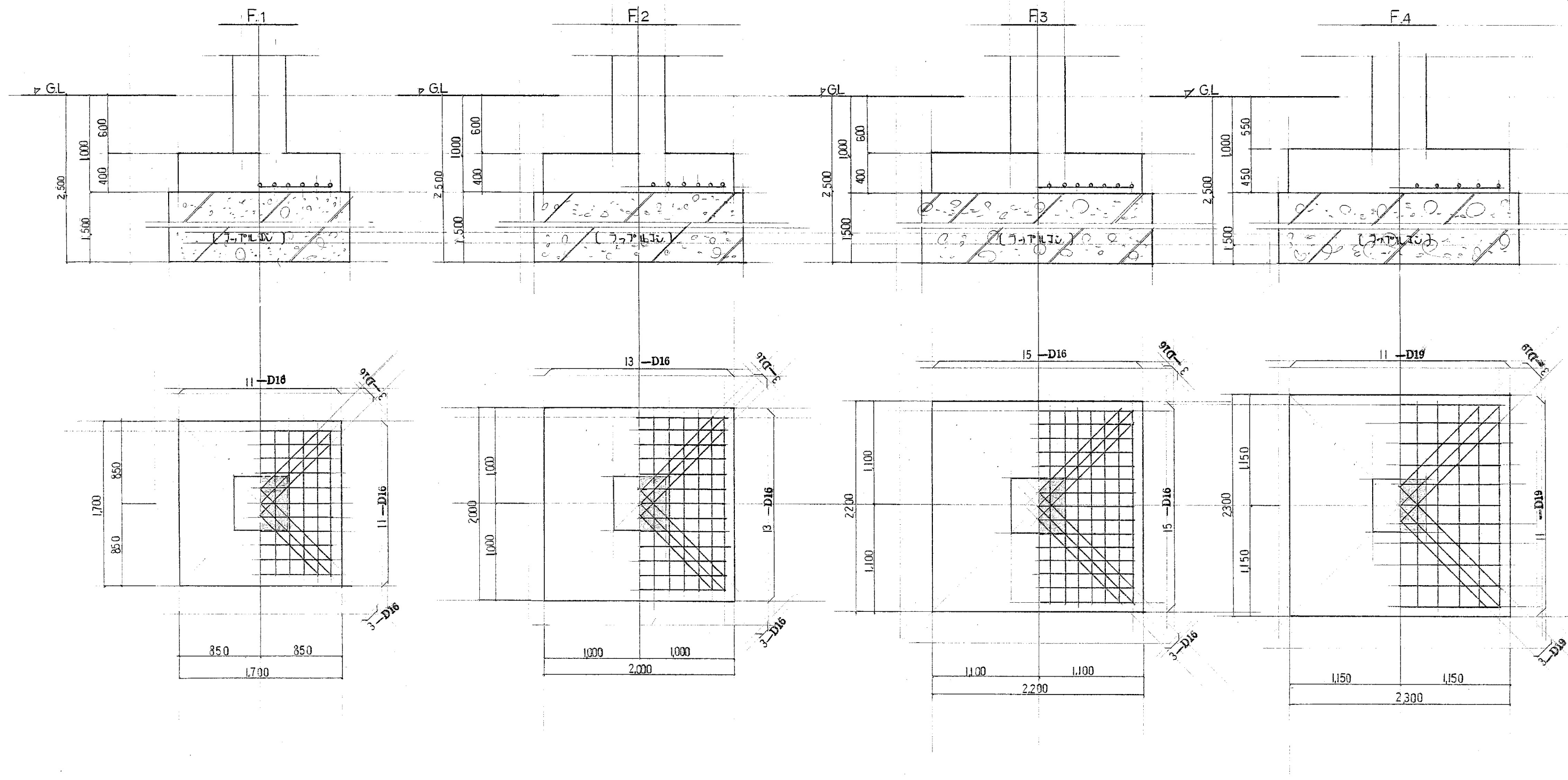
壁リスト		S=1/30			
符 号	CB100	W120	W150	W180	開口部補強筋
断面					
	100	120	150	180	W120 筋 1-D13 W150 筋 2-D13 W180 筋 2-D16 CB100 / 端部・隅部 n-D13
タテ筋	D10 @400	D10 @200 (S)	D10 @300 (折れ)	D13 @200 (W)	
ヨコ筋	D10 @400	D10 @200 (S)	D10 @300 (折れ)	D10 @200 (W)	
巾止筋			D10 --- @900	D10 --- @1000	

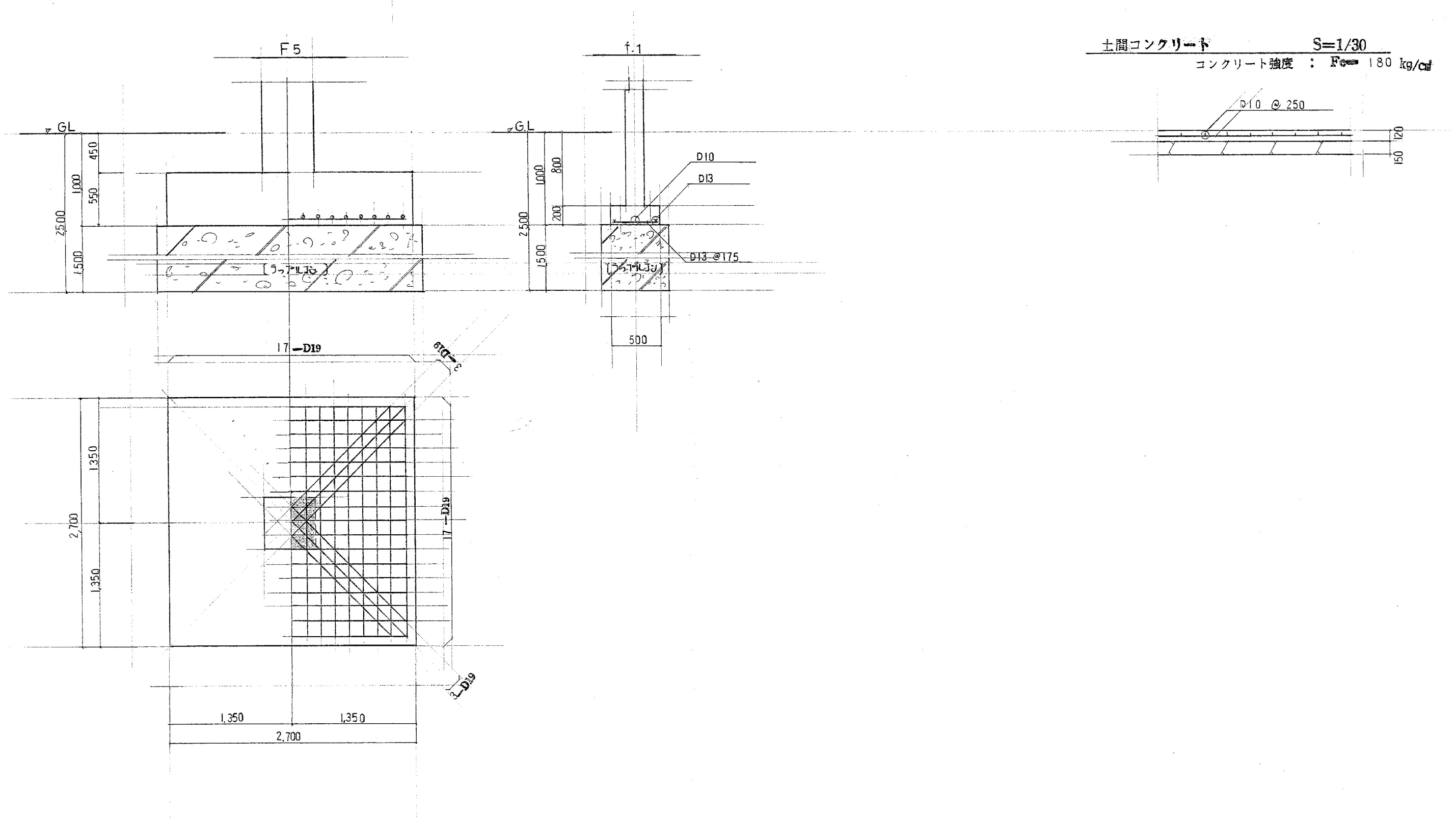


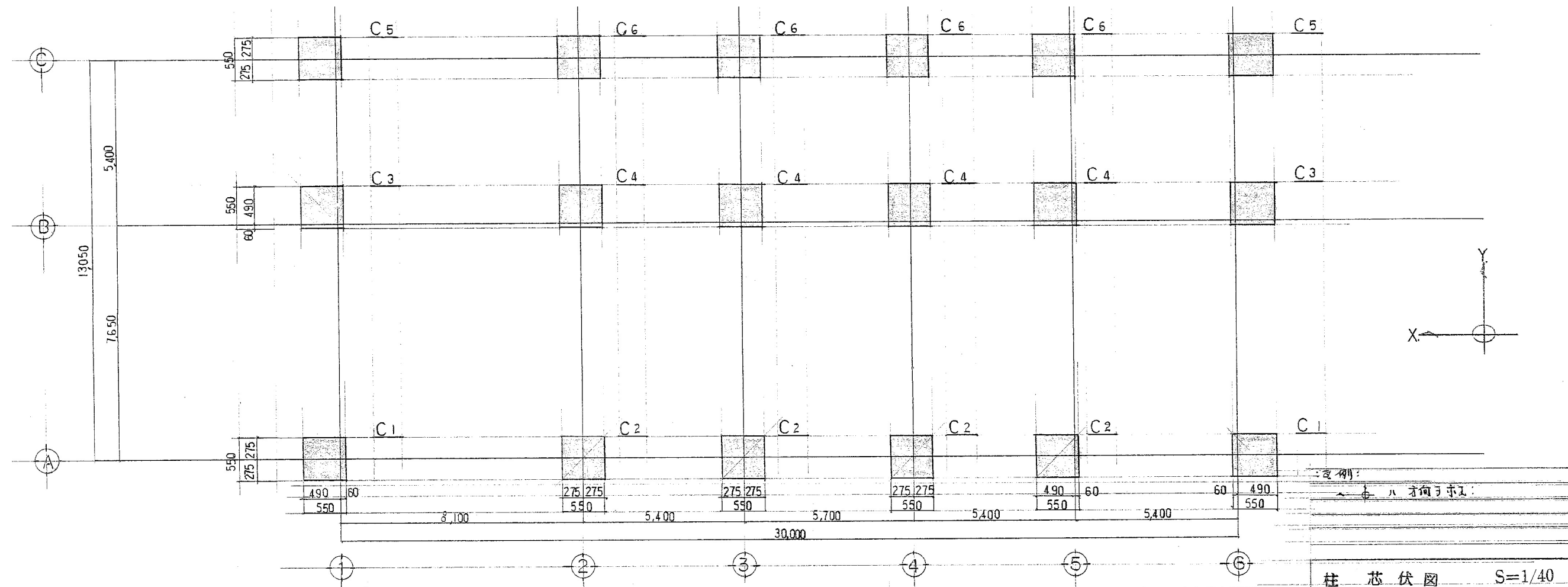
A 階段配筋詳細図

B 階段配筋詳細図





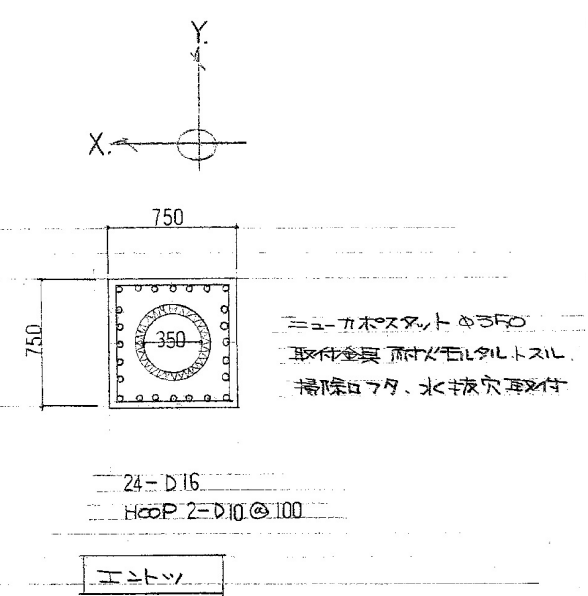




柱芯伏図 S=1/40

特記ナキ限り
HOOP D10-□ @100
D.HOOP D10-+ @500
ルネール内 HOOP. H @150 トスル
さへは筋にて配筋する。

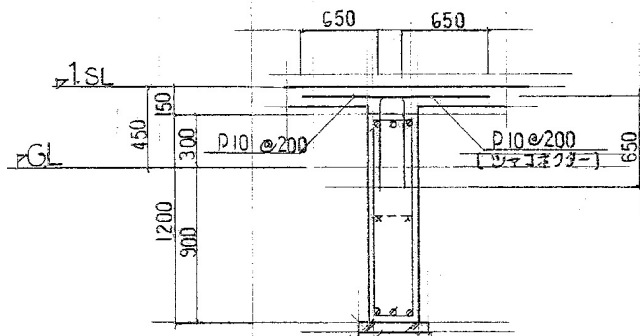
柱リスト S=1/30		C1	C2	C3	C4	C5	C6
2 階	断面						
	主筋 HOOP	8 → D22 550	12 → D22 550	12 → D22 550	14 → D22 550	8 → D22 550	10 → D22 550
1 階	断面						
	主筋 HOOP	12 → D22 550	18 → D22 550	18 → D22 550 HOOP D10-□ @100	24 → D22 550 HOOP D10-□ @100	12 → D22 550	18 → D22 550

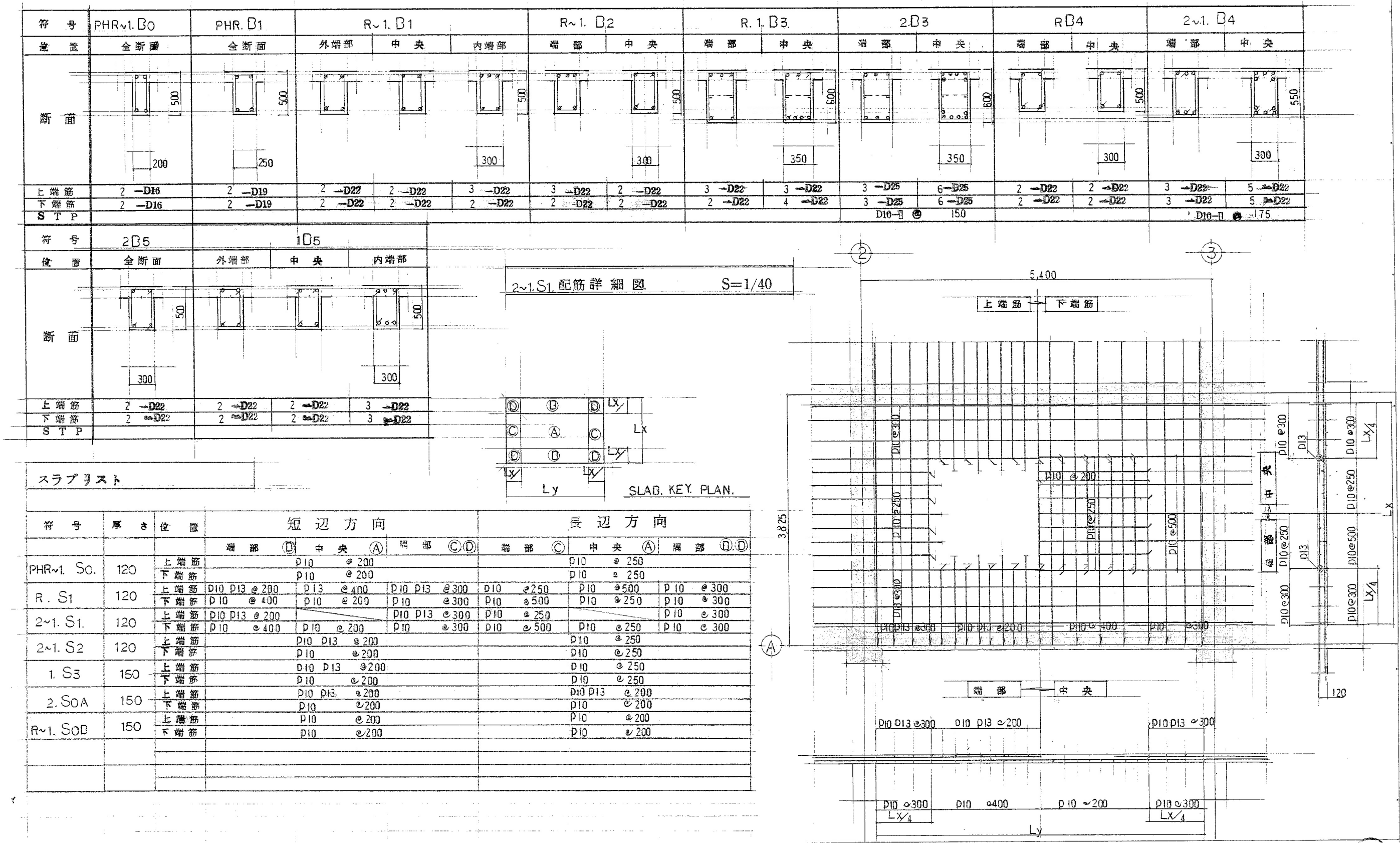


特記ナキ限り	
STP D13-□	○ 250
腹筋	2-D13 4-D10
巾止筋	D10 → ○ 1,000 以内

地 中 梁 リ ス ト				S=1/30									
符 号	FG 1			FG 2		FG 3			FG 4		FB 0	FG 5	
	外端部	中 央	内端部	端 部	中 央	外端部	中 央	内端部	端 部	中 央	全断面	全断面	
断 面													
	300			300		300			300		200	300	
	上端筋	4 →D22	2 →D22	3 →D22	3 →D22	2 →D22	3 →D22	2 →D22	4 →D22	3 →D22	2 →D22	2 →D19	3 →D22
	下端筋	2 →D22	3 →D22	2 →D22	2 →D22	3 →D22	3 →D22	2 →D22	3 →D22	3 →D22	3 →D22	2 →D19	2 →D22
S T P												D10-□ @ 200	

地中梁配筋詳細図 (1階17F.地中梁/納付) S=1/30





特記寸法あり
STP D10-□ @ 200
縦筋 2-D10
市止筋 D10-→ @ 1000 以内:
S.T.P.) 平 W配筋 3寸1.

大梁 リスト S=1/30

階	符 号	G1			G1a			G2		G3			G3a			G4		G5		
		外端部	中 央	内端部	外端部	中 央	内端部	端 部	中 央	外端部	中 央	内端部	外端部	中 央	内端部	端 部	中 央	外端部	中 央	内端部
R 階	断 面																			
				350			300		350			350			400		350			350
	上端筋	4 →D22	2 →D22	4 →D22	3 →D22	2 →D22	4 →D22	3 →D22	2 →D22	3 →D22	2 →D22	3 →D22	4 →D22	4 →D22	8 →D22	4 →D22	2 →D22	3 →D22	2 →D22	3 →D22
	下端筋	2 →D22	3 →D22	2 →D22	2 →D22	3 →D22	2 →D22	2 →D22	3 →D22	2 →D22	3 →D22	2 →D22	4 →D22	5 →D22	8 →D22	2 →D22	3 →D22	3 →D22	3 →D22	2 →D22
2 階	断 面																			
				350			300		350			350					350			350
	上端筋	7 →D22	3 →D22	6 →D22	7 →D22	3 →D22	6 →D22	5 →D22	2 →D22	7 →D22	4 →D22	7 →D22				5 →D22	2 →D22	7 →D22	3 →D22	5 →D22
	下端筋	6 →D22	3 →D22	3 →D22	7 →D22	3 →D22	5 →D22	3 →D22	3 →D22	7 →D22	4 →D22	5 →D22				3 →D22	3 →D22	5 →D22	3 →D22	4 →D22
R 階	断 面																			
				350			350			350			350		300					
	上端筋	3 →D22	3 →D22	4 →D22	4 →D22	5 →D22	5 →D22	3 →D22	2 →D22	3 →D22	5 →D22	2 →D22	4 →D22	2 →D22	2 →D22					
	下端筋	3 →D22	4 →D22	3 →D22	3 →D22	5 →D22	3 →D22	3 →D22	2 →D22	3 →D22	2 →D22	3 →D22	2 →D22	2 →D22	2 →D22					
2 階	断 面																			
				350			350			350			350		300			350		
	上端筋	5 →D22	2 →D22	5 →D22	6 →D22	3 →D22	6 →D22	5 →D22	3 →D22	6 →D22	6 →D22	3 →D22	7 →D22	2 →D22	4 →D22			4 →D22		
	下端筋	5 →D22	3 →D22	4 →D22	5 →D22	4 →D22	4 →D22	5 →D22	3 →D22	6 →D22	4 →D22	3 →D22	5 →D22	2 →D22	3 →D22			3 →D22		